Panasonic®

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-BR30

操作編

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 保証書別添付

- 「取扱説明書（準備編・操作編）」および「シンプルリモコン操作ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（106 ～ 109ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

「操作」についての

紙の取扱説明書以外にも、目的別に以下のガイドで本機の操作をご案内しています。

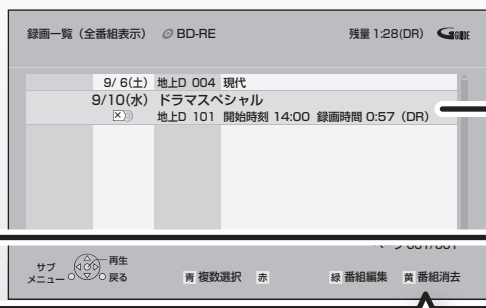
1 機器操作は 表示中の画面で確認

画面上で、機能説明や操作できるボタンの表示、さらには補足説明などを確認できます。

例）操作できるボタンの表示

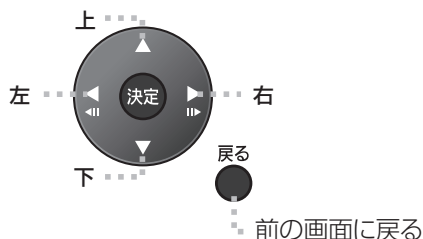
選択中の項目は黄色で表示

基本的な操作は、リモコンの上下左右ボタンと決定ボタンを使います。

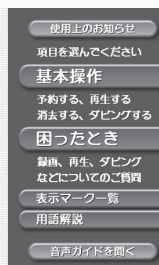
前の画面に戻る

補足説明

? マークが付いた画面が表示されたとき

ガイド ? ボタンを押すと、

操作に対する補足説明が確認できます。

2 困ったときは 操作ガイド

ガイド ? ボタンを押すだけで、困ったときの解決方法や、調べたい用語を確認できます。

- 基本の使い方も確認できます。
- 録画中や再生中に見ることはできません。

3 音声で案内 音声ガイド

機器の操作を音声や操作音で確認できます。

- ご使用になる場合は、初期設定「音声ガイド機能」を「入」に設定してください。(➜80)

・ スタート ボタンを3秒以上押すと、設定画面を直接表示することができます。

（シンプルリモコンの場合、**[予約/確認]**ボタンを3秒以上押す）

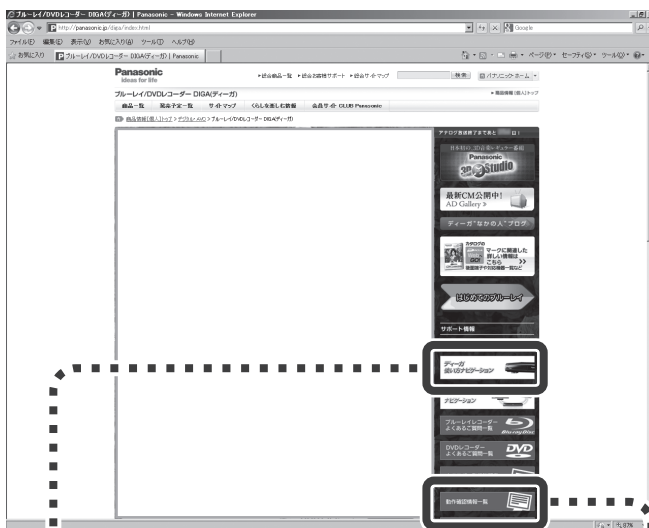
本書では、本機の操作方法を説明しています。
別冊の「**取扱説明書 準備編**」や「**シンプルリモコン操作ガイド**」もあわせてご覧ください。

4 連携機器情報などの詳しい情報は 当社ホームページ

本機を使用していただくための、サポート情報を掲載しています。

- 接続機器に合わせた"接続方法"や"基本の使い方"がわかる「**使い方ナビゲーション**」「**つなぎ方ナビゲーション**」
- 連携できる機器品番情報などを確認できる「**動作確認情報一覧**」
- 困ったときや、用語を調べたいときの「**よくあるご質問**」など

お持ちのパソコンからご覧ください。(本機からホームページをご覧になることはできません)

diga.jp

例えば…

使い方ナビゲーション

例えば…

動作確認情報一覧

ホームページの内容は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

本機の「特長」

「ハイビジョンで楽しむ」

デジタル放送のハイビジョン番組をハイビジョン画質で録画できます。

「思い出を見よう!」

動　画

ハイビジョン動画(AVCHD)の再生ができます。

デジタルカメラなどで撮った写真の再生ができます。

「ネットワークにつないで楽しむ」

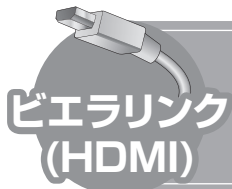
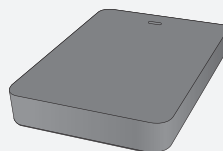
注目番組

注目番組を表示することができます。※

※ネットワークで番組情報を提供している放送局のみ
（2010年11月現在、NHKのみ）

「別売のハードディスク(以降HDDと表示)(DY-HD500)の取り付けに対応」(2010年11月現在)

HDDをつなぐと、以下のような機能をお使いいただけるようになります。

- 新番組おまかせ録画 ▶ 34ページ
- 録画一覧のラベル機能 ▶ 48ページ
- 番組のダビング ▶ 57ページ

HDMIケーブルでビエラとつなげば、

ビエラのリモコン1つで本機の操作を行うことができます　→ 68ページ

番組

視聴

録画

(➜ 次ページにつづく)

もくじ(つづき)

再生

編集

ダビング 別売HDD専用

写真

音楽

その他

便利機能

必要なとき

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

●本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

[電源⏻/I]を3秒以上押す

本機の電源が切れます。

故障かな !? と思った場合 ➜ 95

本機を廃棄/譲渡するときは

92ページをご覧ください。

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。
よく確認してから実行してください。

安全上のご注意
視聴
録画
再生
編集
ダビング
写真
音楽
便利機能
必要なとき

本書内の表現について

●本書内で参照していただくページを(➜○○)、別冊の取扱説明書 準備編を参照していただくページを(➜準備編 ○○)で示しています。
●ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク	ディスクなど	表示マーク
BD-RE※	BD-RE	DVD ビデオ	DVD-V
BD-R※	BD-R	+R	
BD ビデオ	BD-V	+R DL	
DVD-RAM	RAM	+RW	
DVD-R	-R	CD	CD
DVD-R DL		SD カード	SD
DVD-RW	-RW		

※ DL、BDXL も含みます。

同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
●AVCREC 方式の場合: 例) RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
・本機でフォーマットしたディスクは、AVCREC 方式になります。
●VR 方式の場合: 例) RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
●ビデオ方式の場合: 例) -R(V) -RW(V) (ただしファイナライズ後は DVD-V)
●ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画(AVCHD) が記録されたディスクや SD カードの場合は、AVCHD と表示しています。

別売のHDD(DY-HD500)を接続時の操作について

本書では、HDD を接続している場合の操作も含めて記載しています。HDD を接続している場合にできる操作については、HDD と表示しています。

各部のはたらき

シンプルリモコン

シンプルリモコンは、基本的な機能を簡単に操作することを目的とするリモコンです。
●シンプルリモコンの操作や表示される画面は、シンプルリモコン専用のものです。
●操作方法については、「シンプルリモコン操作ガイド」をご覧ください。
●シンプルリモコンでは、本書に記載した操作はできません。

リモコン(フルリモコン)

はじめに

各部のはたらき(つづき)

本体

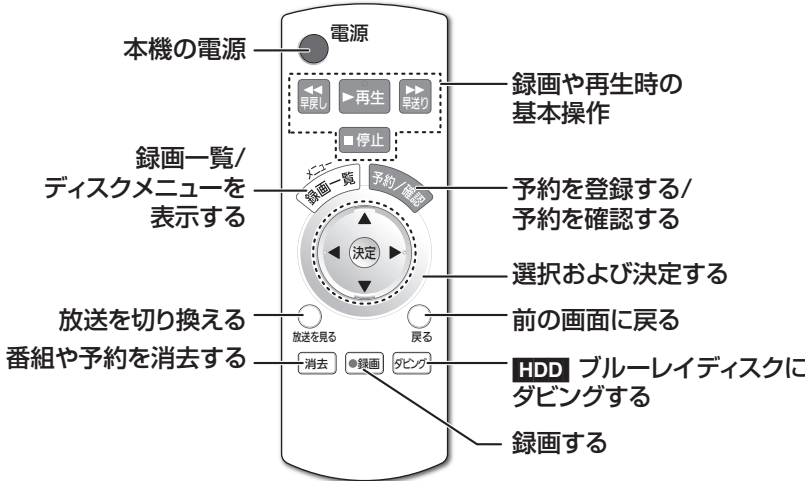
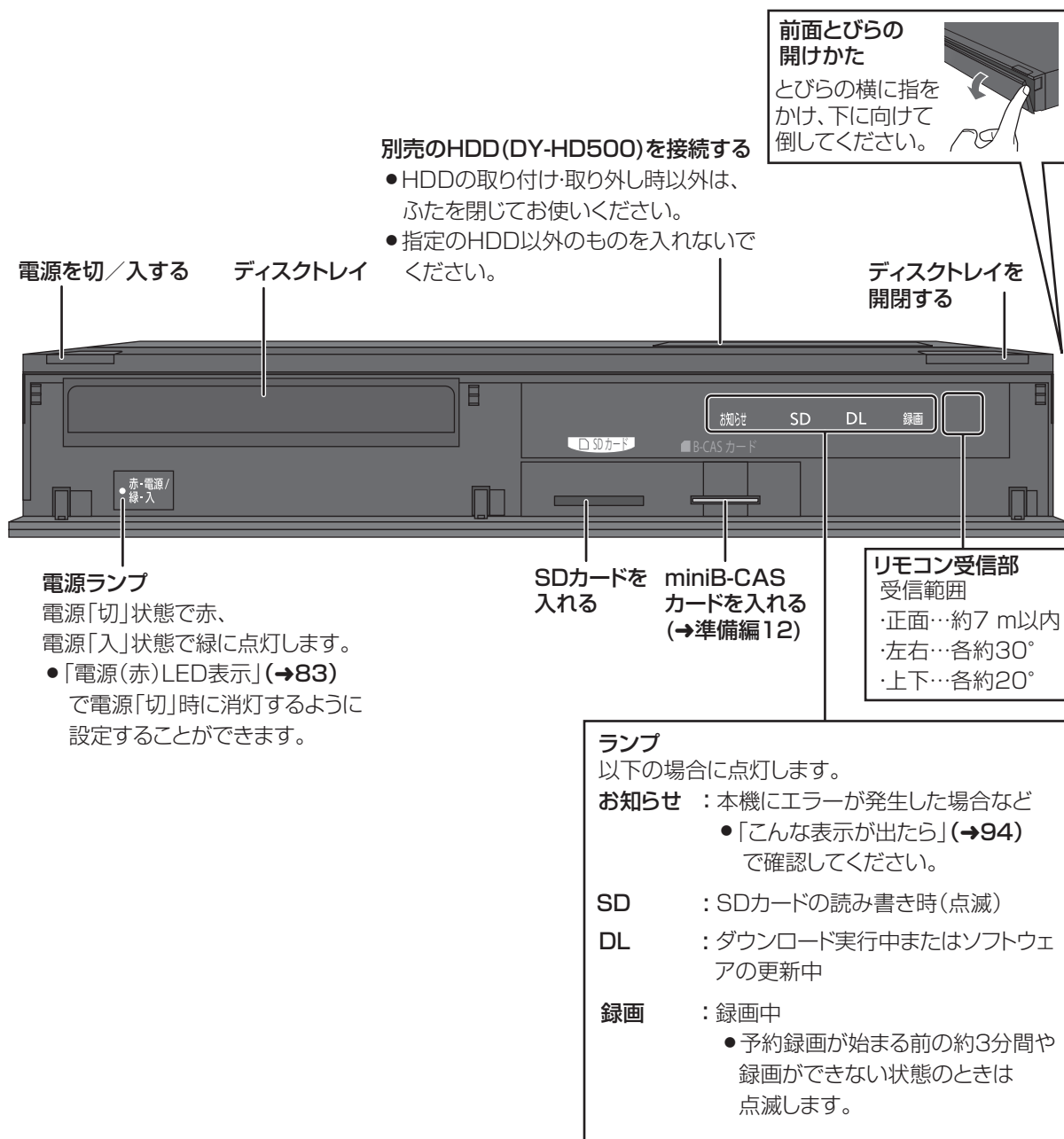
ランプ

以下の場合に点灯します。

お知らせ ：本機にエラーが発生した場合など
●「こんな表示が出たら」(**➜94**)で確認してください。

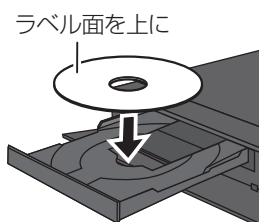
SD ：SDカードの読み書き時(点滅)

DL ：ダウンロード実行中またはソフトウェアの更新中

録画 ：録画中
●予約録画が始まる前の約3分間や録画ができない状態のときは点滅します。

ディスク・SD カードを入れる

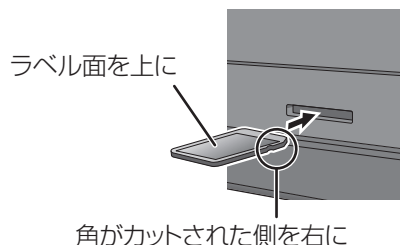
ディスク

開/閉 ⏏ を押してトレイを開き、ディスクを入れる

●もう一度押すと、トレイが閉まります。
●ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

お知らせ

●両面ディスクの場合、記録または再生したい側の面を下にして入れてください。
●ほこりや指紋が付着したディスクは、**汚れを取り除いて**から使用してください。(➜93)
●使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。
●**カートリッジ付きディスクについて**
・カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0)は、本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
・DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイにのせてください。(➜ 下記)
(TYPE1 は使えません)
●ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをおすすめします。

SD カード

❶ **本体前面のとびらを開ける**
❷ **カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む**

❸ **本体前面のとびらを閉じる**

カードを取り出すには
上記手順 ❷ で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

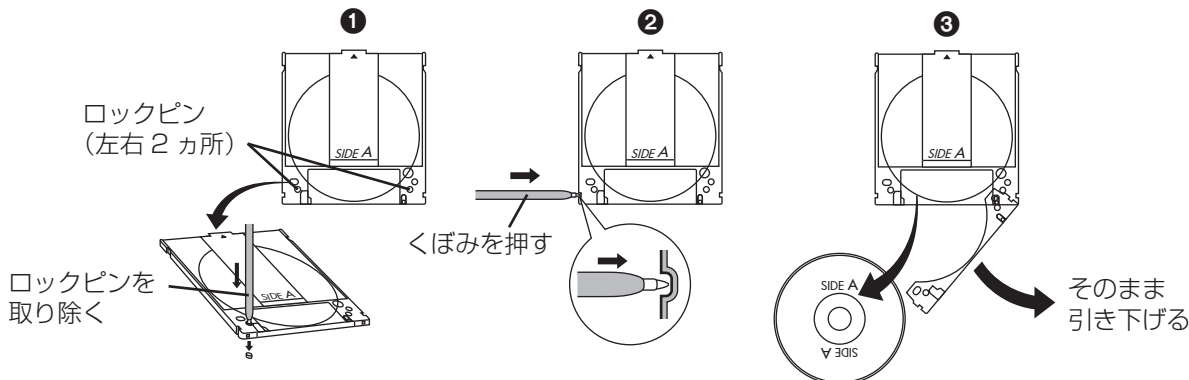
お知らせ

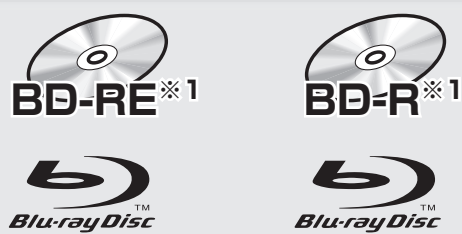
●**本体の"SD"ランプ点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりする恐れがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。**
●mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用の アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例)

カートリッジ付きディスクの取り出しかた例
カートリッジからの取り出しかたはディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合

はじめに

記録できるディスクについて

本機で記録できるブルーレイディスクは?

※1 DL、BDXLも含みます。

記録するには…	フォーマットをしてください。(➔74)

■BD-REに関してのお知らせ

本機では、カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。
(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)

本機で記録できるDVDディスクは?

本機で記録するには…

CPRM※3対応の
ディスクをお使いください。

※2 カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。
(TYPE1は使えません)

※3 CPRMとは、デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術のことです。

記録するには…	フォーマットをしてください。(➔74) ・AVCREC方式の記録方式 にフォーマットします。

DVDの記録方式は3種類ありますが、本機での記録や再生は以下のようになります。

	記録	再生
AVCREC方式	○	○
VR方式	×	○
ビデオ方式	×	○

(○:できる　×:できない)

AVCREC方式のみ記録できます。
他機器で記録したVR方式、ビデオ方式のディスクは、再生のみできます。
(RAM(VR) は本機でフォーマットすれば、記録できるようになります)

記録したディスクを他の機器で再生するには?

BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

- LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できないときがあります。
- 当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、再生できません。
- HG、HX、HE、HL、HM、HB モードの番組は、再生できない場合があります。
- DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
  - ・DL のブルーレイディスクは、2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。
  - ・BDXL のブルーレイディスクは、右記のロゴが付いた機器で再生できます。

以下の条件に当てはまる機器で再生できます。

- **記録したディスクの再生に対応**
- **AVCREC 方式の再生に対応**

対応機器には右記のロゴが付いています。
対応機器以外で使用しないでください。ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

-R(AVCREC) はファイナライズ(➔76)が必要です。

- **CPRM に対応**

お知らせ

- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

はじめに

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

DVD-RW	**●他の DVD レコーダーで録画されたディスク** （録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます） **●写真（JPEG）が記録されたディスク**	
BD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例） ●リージョンコードは国により違います。
DVD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。	「2」（または「2」を含むもの）、「ALL」が表示されたもの 例） ●番号は国により違います。
CD	**●音楽や音声が記録された市販ソフト** （CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む） **●写真（JPEG）が記録された CD-R や CD-RW**	
+R +R DL（片面2層） +RW	**●他の DVD レコーダーで録画されたディスク** （録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます） **●写真（JPEG）が記録されたディスク**	

●記録状態によって再生できない場合があります。
●CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作および音質の保証はできません。
●8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生のみ可能です。
●本機では、「RAM 2」マークのついたDVD-RAMディスク（6X以上の 高速記録対応）の記録や編集はできません。再生のみ可能です。
●他機器でハイビジョン動画（AVCHD）を記録したディスクやVR方式またはビデオ方式のディスクの編集や追記はできません。再生のみ可能です。

本機で使えないディスク

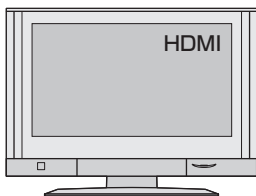
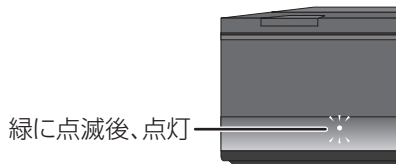
●カートリッジから取り出せない DVD-RAM（TYPE1）
●BD-RE（Ver.1.0）
●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R（ビデオ方式）、DVD-R DL（ビデオ方式）、DVD-RW（ビデオ方式）
●PAL方式で記録されたディスク
●HD DVD ●ビデオCD ●SACD ●SVCD ●DVDオーディオ
●Photo-CD ●パソコンやゲームのソフト　など

操作の前に

本機の映像をテレビに映す

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで､入力切換の操作をする

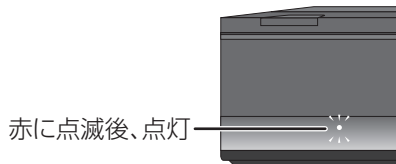
●本機を接続した入力に切り換えてください。（HDMI､ビデオ 1 など）

3 本機のリモコンの 電源 を押す

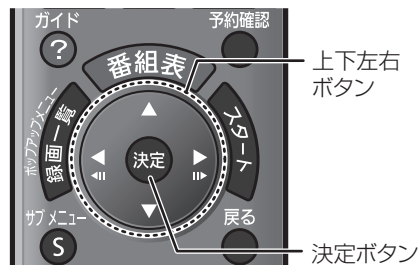
●テレビに映像が映っているか確認してください。

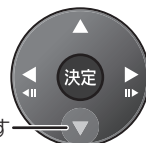
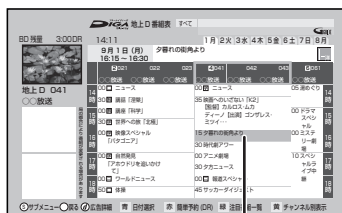
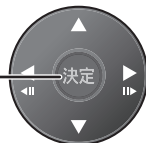
テレビに映像が表示されない場合

●テレビの入力を確認してください。
●接続を確認してください。
（➜ 準備編 4 ～ 13）

本機の電源を切る

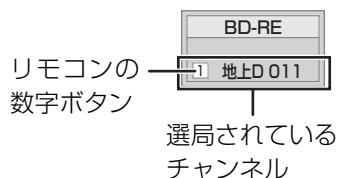
本機のリモコンの 電源 を押す

画面上の基本操作について

本機は画面に表示されている項目をリモコンの上下左右ボタンで選び､決定ボタンを押すことで操作を行います。

例えば､番組を選びたい場合

黄色になっている項目が､現在選ばれている項目

黄色になります。

番組内容の画面が表示されます。

本書では､上記のような操作をする場合､
番組を選び､ 決定 を押す
と記載しています。

[1]～[12]または[チャンネル]を押して、チャンネルを選ぶ

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- **本機では、データ放送を録画できません。**
  録画が始まるとデータ画面が消えます。

1 データ放送のある番組を選局し、[データ]を押す

2 見たい項目を選び、[決定]を押す

例）

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄]や**数字ボタン**で操作してください。

データ画面を消すには

[データ] を押す

お知らせ

- 本機でワンセグ放送を視聴することはできません。
- 録画中にチャンネルを切り換えることはできません。

その他の選局方法

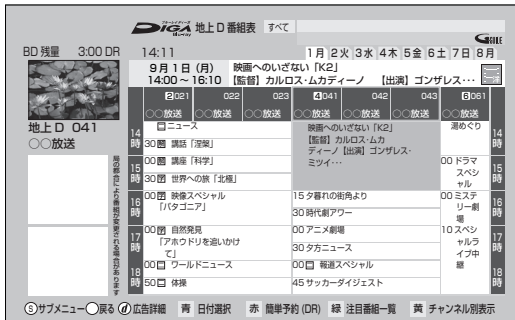
番組表から選局

❶

を押す

❷ 放送中の番組を選び、決定を押す

❸「今すぐ見る」を選び、決定を押す

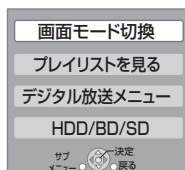
視聴

テレビ放送を見る(つづき)

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

❶ サブ メニュー S を押す

●表示されない場合、もう一度[サブ メニュー]を押してください。

❷「画面モード切換」を選び、決定を押す

❸ 画面モードを選ぶ

ノーマル:
元の映像で表示します。

サイドカット:
16:9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。

ズーム:
4:3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。

お知らせ

●以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切 / 入

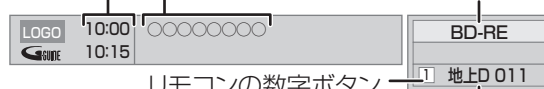
●番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。

●「TVアスペクト」(➜ **準備編 20**)を「4:3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。

●テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

見ている番組の情報を表示

画面表示 を押す

例)

表示を消すには
[**画面表示**] を数回押す

音声を切り換える

音声 を押す

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

お知らせ

●録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

放送内容などの設定

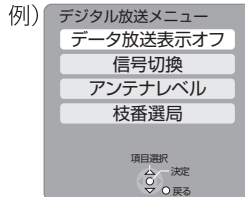
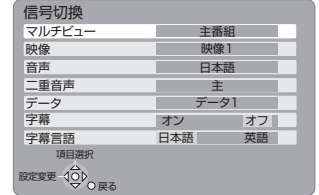
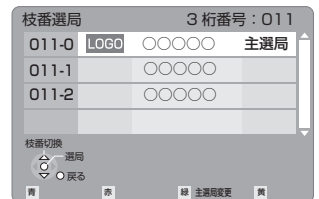
テレビ視聴中に

❶ サブメニュー S を押す

●表示されない場合、もう一度[サブ メニュー]を押してください。

❷「デジタル放送メニュー」を選び、決定を押す

例）
❸ 設定項目を選び、決定を押す（➜ 右記へ）

データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 **設定する項目を選び、設定する** お知らせ ●「DR」以外の録画モードで録画する場合、音声や字幕などは設定された内容で録画され再生時に切り換えできません。
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 （例:「011-0」、「011-1」） 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **放送局を選び、[決定] を押す** **主選局を変更するには** 主選局にしたい放送局を選び、[緑] を押す

お知らせ

●視聴中の番組により表示される項目が変わります。

録画する

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) HDD

●新品など未フォーマットのディスクに録画するには、フォーマットしてください。(➜74)

別売の HDD(DY-HD500) を接続してる場合は、手順 1 の前に [HDD] または [BD/DVD] を押して、録画先を選んでください。

1 1 ～ 12 または チャンネル を押して、チャンネルを選ぶ

2 録画モード を押して、録画モードを選ぶ

●押すごとに、切り換わります。

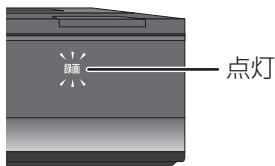
●表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。

例）

録画モード		
DR	残量	3:00
HG	残量	4:00
HX	残量	6:00
HE	残量	9:00
HL	残量	12:00
HM	残量	17:20
HB	残量	21:40

高画質 ↕ 長時間

3 録画 を押す

点灯

4 録画を止めるときは、停止 を押す

お知らせ

●予約録画が始まると、予約録画が優先され録画は終了します。

●録画中の番組の録画モードを変えることはできません。

●ディスクへの記録準備をするため、録画が始まるまで時間がかかる場合があります。

●HDD 長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分割されます。

録画中のいろいろな操作

一時停止する

一時停止 を押す

●もう一度押す、または [録画●] を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)

●一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

録画しながら再生する

BD-RE

追っかけ再生:

録画中の番組を先頭から再生します。

同時録画再生:

録画中に録画済みの番組を再生します。

1 録画一覧 を押す

2 番組を選び、決定 を押す

お知らせ

●BD-RE 録画中にディスクを再生する場合、早見再生や戻し方向のスロー再生、コマ送り、コマ戻しができません。

●BD-RE 録画中に、本機以外でフォーマットや記録、編集したディスクは再生できません。

●HDD 別売のHDD(DY-HD500)を接続した場合、HDDに録画中にHDDやディスクの再生ができたり、ディスクに録画中にHDDの再生ができるようになります。

予約録画する

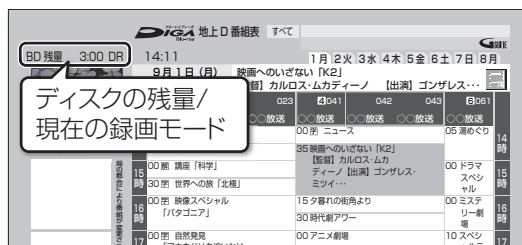
BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** **HDD**

●新品など未フォーマットのディスクに録画するには、フォーマットしてください。(➜74)

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

1 番組表 **を押す**

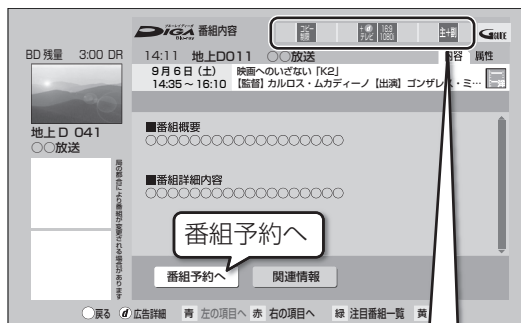
2 **番組を選ぶ**

例）

3 決定 **を押す**

決定 **の代わりに** 赤 **を押すと、**

現在の録画モードで簡単に
ディスクに予約を完了できます。
(手順4〜5の操作は不要です)

- 予 が表示されます。
- 別売のHDD(DY-HD500)を接続している場合はHDDに予約されます。
ディスクに予約したい場合は手順4に進んでください。

4 **「番組予約へ」を選び、** 決定 **を押す**

5 **項目を選び、** 決定 **を押す**

●フォーマット画面が表示された場合は、画面に従ってフォーマットを行ってください。

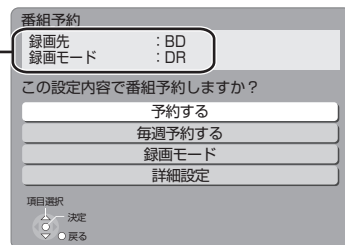
予約する:
予約を登録

毎週予約する:
毎週同じ曜日に予約を登録(➜32)

録画モード:
録画モードを変更(変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください)

● **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** 「DR」は選べません。

詳細設定:
録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更(➜28)

●別売の HDD(DY-HD500) を接続している場合、録画先を選ぶことができます。

予約内容を確認してください。

DVD にデジタル放送を録画する場合

CPRM対応 のディスクをお使いください。

お知らせ

- 番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。(➜22)
- 電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- 本機では 128 番組まで予約できます。(毎日·毎週予約は、1 番組として数えます)

番組表の見かた

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

例)全チャンネル表示

予:録画予約している番組

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ/特撮)を色分け表示しています。

お知らせ

- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに1日程度かかる場合があります。

番組表の表示設定

日付の切り換え

●全チャンネル表示時のみ

（前日）（翌日）を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

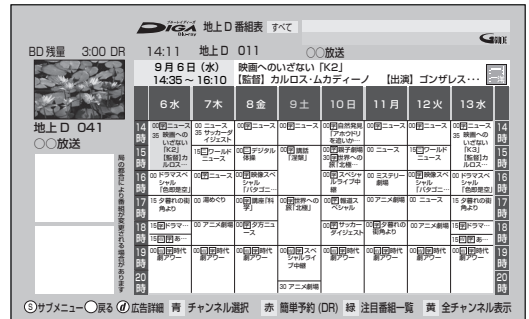
❶ 青 を押す

❷ 日付を選び、決定 を押す

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

❶ **表示したいチャンネルの番組を選ぶ**

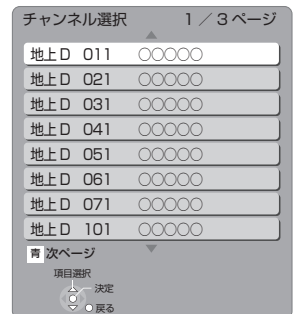
❷ 黄 **を押す**

全チャンネル表示に切り換えるには

［黄］を押す

別のチャンネルを表示するには

チャンネル別表示中に

① 青 を押す

② チャンネルを選び、決定 を押す

お知らせ

●本機は放送局からの番組情報を基に、8日分の番組表を表示することができます。

番組表の表示設定(つづき)

1 番組表表示中に

 を押す

2 **項目を選び、設定する**

●表示される内容は放送によって異なります。

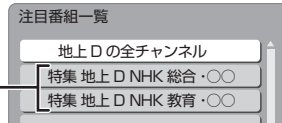
番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(➜26)
録画モード	録画モードを変更します。(➜37)
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを表示し、枝番号表示しないようにします。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ① **メインジャンルを選び、[決定]を押す** ② **サブジャンルを選び、[決定]を押す** ☞ **ジャンル別の表示をやめるには** ① **[サブ メニュー]**を押す ② 「全ジャンル表示」を選び、**[決定]**を押す ●サブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

注目番組一覧から予約録画する

放送局がおすすめする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に
緑 **を押す**

2 **放送を選び、決定 を押す**

●地上Dの全チャンネルを選んだ場合、手順 4 へ進んでください。

ネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜78)を「オン」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。
(2010年11月現在、ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局は NHK のみです)

3 (ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)
カテゴリーを選び、決定 を押す

カテゴリー

カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには
[赤] を押す
● 予 が表示され、ディスクに予約を完了します。
・別売の HDD(DY-HD500) を接続している場合、HDD に予約されます。
(HDD 録画された番組は、まとめ 番組になります)

放送を変更するには
[緑] を押す(➜ 手順 2 へ)

4 **番組を選び、決定 を押す**

カテゴリー

他のカテゴリーを表示するには
[|◀◀][▶▶|] を押す
([青] を押してカテゴリーを選択することもできます)

放送を変更するには
[緑] を押す(➜ 手順 2 へ)

録画モードを変更するには
① [サブ メニュー] を押す
② 録画モードを選び、[決定] を押す

5 **「番組予約へ」を選び、決定 を押す**
(「番組予約」の場合は ➜21 手順 5)
(「時間指定予約」の場合は ➜29 手順 3)

録画

番組を検索して予約録画する

1 番組表表示中に

サブメニュー S を押す

2 「番組表の検索」を選び、決定 を押す

3 検索方法を選び、決定 を押す

フリーワード検索
ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

❹ 検索条件を選び、決定 を押す

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

☞ 別の日の検索結果を表示するには

[|◀◀][▶▶|] を押す

(検索結果画面表示中に 、[青] を押して日付を選択することもできます)

❺ 番組を選び、決定 を押す

❻ 「番組予約へ」を選び、決定 を押す

(➜21 手順 5)

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の複数の検索条件(5 件まで)を登録し、1 つでも条件を満たす番組を検索することができます。

■検索条件を登録する

❹ 緑 を押す

❺ 検索方法を選び、決定 を押す

- 「フリーワード」は、文字を入力し(➜72)、登録してください。

上記手順 ❹ ～ ❺ を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

☞ 登録したフリーワードを変更するには

① 検索条件を選び、[決定] を押す

② 「フリーワード編集」を選び、[決定] を押す

③ 文字を入力する(➜72)

☞ 登録した検索条件を削除するには

① 検索条件を選び、[黄] を押す

② 「はい」を選び、[決定] を押す

■検索する

❹ 青 を押す

☞ 別の日の検索結果を表示するには

[|◀◀][▶▶|] を押す

(検索結果画面表示中に 、[青] を押して日付を選択することもできます)

❺ 番組を選び、決定 を押す

❻ 「番組予約へ」を選び、決定 を押す

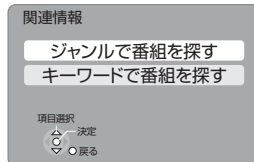
(➜21 手順 5)

お知らせ

- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。
- 「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組のジャンルや出演者など関連した情報から番組を検索します。

番組内容画面(➜21 手順 4)表示中に

❶ **「関連情報」を選び、決定 を押す**

❷ **項目を選び、決定 を押す**

例）
関連情報
ジャンルで番組を探す
キーワードで番組を探す
項目選択 決定 戻る

●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

別の日の検索結果を表示するには

[|◀◀] [▶▶|] を押す
（検索結果画面表示中に、[青] を押して日付を選択することもできます）

❸ **番組を選び、決定 を押す**

❹ **「番組予約へ」を選び、決定 を押す**
(➜21 手順 5)

詳細設定をする

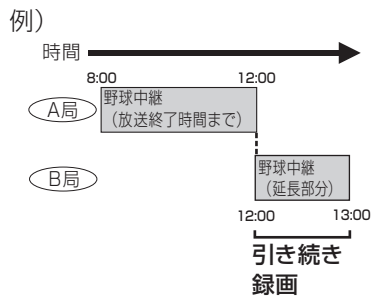
21 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する(➜ 下記へ)

●「毎週予約設定」「信号設定」「時間指定予約へ」の場合は、[**決定**] を押してください。

2 設定が終了したら、
「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

録画先	●別売のHDD(DY-HD500)を接続している場合のみ設定できます。
録画モード	録画モード(➜37)を設定します。
毎週予約設定	**「毎週予約」(➜32)を設定する** ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。 ●HDD「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、記録容量を効率よく録画できます。

イベントリレー	「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます) 例) 時間 8:00 12:00 A局 野球中継(放送終了時間まで) B局 野球中継(延長部分) 12:00 13:00 引き続き録画 **お知らせ** ●毎日･毎週予約を設定している場合は働きません。 ●他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。 ●[別売の HDD(DY-HD500) 接続時]録画先が"BD"の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。
信号設定	複数の音声や映像の信号があるときに設定します。 ① **項目を選び、設定する** ② **[戻る] を押す** **お知らせ** ●「DR」以外の録画モードで録画する場合、音声や字幕などは設定された内容で録画され、再生時に切り換えできません。 ●選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。
マイラベル設定 HDD	●別売のHDD(DY-HD500)を接続している場合のみ設定できます。
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 (➜29「時間指定予約」)

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) HDD

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

1 予約確認 ● **を押す**

2 緑 **を押す**

3 **予約内容を設定する**

（➜ 右記「時間指定予約」へ）

4 **「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す**

予約内容の設定

時間指定予約

時間指定予約	○○放送
録画日	9月10日(日)
毎週予約設定	しない
チャンネル	地上D 061
開始時刻 9月10日	17:00
終了時刻 9月10日	17:30
録画先	BD
録画モード	DR
番組名入力	
マイラベル設定	しない
予約を登録する	

項目選択 決定 戻る

❶ **項目を選び、設定する（➜ 下記へ）**

●「毎週予約設定」「番組名入力」の場合は、[**決定**] を押してください。

❷ 設定が終了したら、
左記手順４へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日･毎週予約を設定します。(**➜28「毎週予約設定」**)
チャンネル	録画するチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀] または [▶] を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	●別売のHDD(DY-HD500)を接続している場合のみ設定できます。
録画モード	録画モード(**➜37**)を設定します。
番組名入力	●文字入力について(**➜71**) ●入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	●別売のHDD(DY-HD500)を接続している場合のみ設定できます。

録画

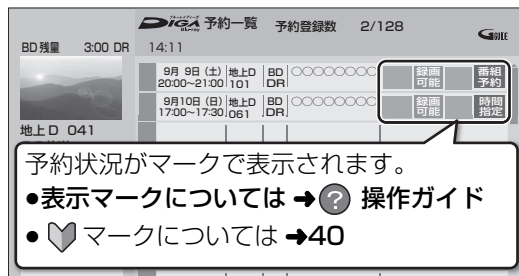
お知らせ

●番組追従機能(**➜32**)は働きません。

予約録画する(つづき)

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 ● **を押す**

2 **番組を選び、以下の操作を行う**

●実行されなかった予約は、翌々日の午前 4 時には一覧から消去されます。

予約の取り消し

❶ 黄 **を押す**
❷ **「はい」を選び、決定 を押す**

予約内容の修正

❶ 決定 **を押す**
❷ **「修正」を選び、決定 を押す**
(「番組予約」の場合は ➜28「詳細設定」へ)
(「時間指定予約」の場合は➜29「時間指定予約」へ)

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

❶ 決定 **を押す**
❷ **「毎週一覧」を選び、決定 を押す**

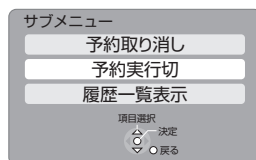
●予約の「重複」がある場合に **[決定]** を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。(➜33)
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める(一時解除)

❶ サブメニュー S **を押す**

例)

サブメニュー
予約取り消し
予約実行切
履歴一覧表示

項目選択 決定 戻る

❷ **「予約実行切」を選び、決定 を押す**

●予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
●**[サブ メニュー]** を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。

履歴一覧の表示

❶ サブメニュー S **を押す**
❷ **「履歴一覧表示」を選び、決定 を押す**

●履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

❶ サブメニュー S **を押す**
❷ **「履歴削除」を選び、決定 を押す**
❸ **「はい」を選び、決定 を押す**

●予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

番組表での予約の取り消し / 修正

予約の取り消し

「予」が表示されている番組を選び、赤 を押す

- 「予」が消えます。
- 予約録画実行中の番組は、取り消しできません。

予約の修正

❶ **「予」が表示されている番組を選び、決定を押す**

❷ **「予約修正」を選び、決定を押す**

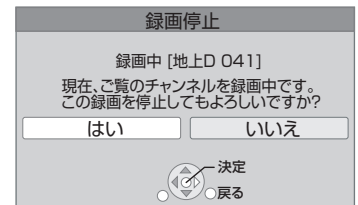
「番組予約」の場合は
➜28「詳細設定」

「時間指定予約」の場合は
➜29「時間指定予約」

録画中の予約録画を止める

1 **停止 を押す**

2 **「はい」を選び、決定 を押す**

例）

予約録画の便利な機能

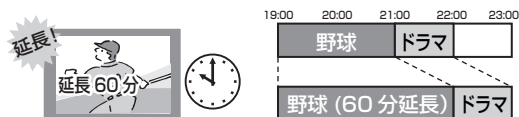
録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

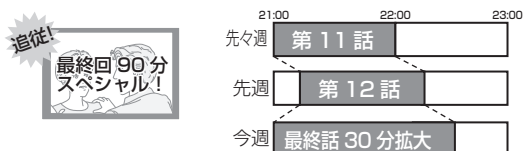
●連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。**(➜30)**

番組追従機能
●番組表から予約した番組にのみ働きます

■野球中継などの番組延長に対応

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3 時間までの変更に対応)

●予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。
●「イベントリレー」**(➜28)**を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。

■毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)

●次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。
●番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。**(➜29)**

お知らせ

●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
●番組追従機能は当社独自の機能です。G ガイド固有の機能ではありません。

予約録画に関するお知らせ

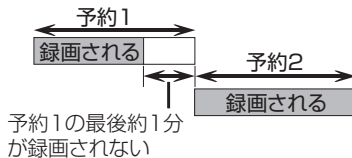
予約録画待機中の録画や再生

以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。
- ●録画中:
  予約録画の開始時刻になったとき
- ● BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) や本機以外でフォーマットや記録、編集したディスクを再生中:
  ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき
- ●BD ビデオや AVCHD のディスクを再生中:
  HDD DR モード以外の予約録画の開始時刻になったとき

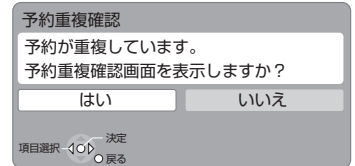
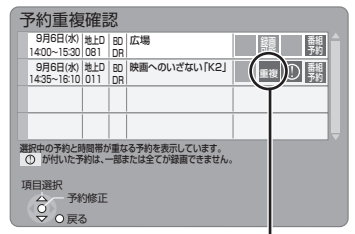
予約時の電源の切 / 入について

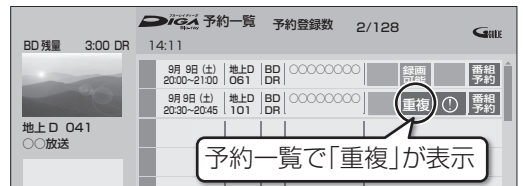
電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることはできます。(録画に影響はありません)

前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。

- ●前の予約先が「HDD」で、次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めの約 1 分も録画されません。
- ●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき
(21 ページ手順 5 などのあと)

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをおすすめします。

例)

「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。
予約を選び、[決定]を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。

別売の HDD(DY-HD500) 接続時に追加される録画機能

新番組を自動で予約録画する

HDD

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大 16 番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は 18 時〜23 時 59 分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- 録画モードは「DR」で予約します。

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「新番組おまかせ録画」を選び、決定 を押す

4 設定したい項目を選び、「入」にする

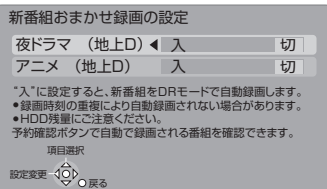
予約された新番組の確認

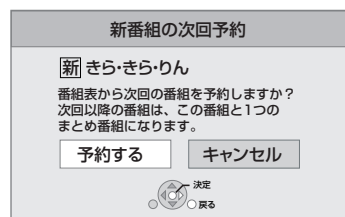
予約確認

 を押す

予約内容を修正するには(➜30)

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日･毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

録画した新番組の再生

番組を再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

お知らせ

- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 通常の番組と予約が重なった場合、新番組の予約は行われません。
- 新番組同士の予約が重なった場合、以下の優先順位で予約します。
  ① 開始時刻の早い番組を優先
  ② 新番組の開始時刻が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

予約時の設定

以下の手順のあとに操作します。
- 21 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあと
- 29 ページ手順 2 のあと

1 **項目を選び、設定する**(➜ 下記へ)
- 「マイラベル設定」の場合は、**[決定]** を押してください。

2 設定が終了したら、
「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

録画先	「HDD」または「BD」を選びます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定すると、録画一覧(➜48)で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。(➜52) マイラベル設定 マイラベルを設定すると、録画一覧で分類ラベルとして表示できます。 しない ラベル1 ラベル2 ラベル3 ラベル4 ラベル5 ラベル6 項目選択 決定 戻る **ラベルを選び、[決定] を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベル名は変更することができます。 (➜49「分類ラベル設定」)

録画

別売の HDD(DY-HD500) 接続時に追加される録画機能(つづき)

毎日・毎週予約について

まとめ表示について まとめ HDD

連続ドラマなどを毎日･毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。(➜49)
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

前回の番組を消去して録画するには(自動更新) HDD

「自動更新」を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、記録容量を効率よく使えます。

- 番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

ディスクの残量不足などに対応(代替録画)

HDD

HDD が接続されている場合、ディスクの入れ忘れ、残量不足などでディスクに予約録画できないときは、自動的に"HDD" に録画先を変更し、録画の失敗を防ぎます。

- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

録画モードについて

録画モード	DR	HG	HX	HE	HL	HM	HB
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録					
	高画質 ← → 長時間						
記録できる放送	地上デジタル放送						
記録できるディスク	BD-RE BD-R HDD	BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) HDD					
サラウンドの音声	サラウンド音声						
複数の音声(マルチ音声➜38)	複数の音声をすべて記録	音声は 1 つだけ記録※2					
複数の映像	複数の映像をすべて記録	映像は 1 つだけ記録※2					
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入 / 切ができる)	字幕の入 / 切情報は記録しない (再生時、字幕表示の入 / 切はできない)※2					

※ 1　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

※ 2　記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合:
- 録画時　:「信号切換」(➜19)で選ぶ
- 予約録画時　:「信号設定」(➜28)で選ぶ
- HDD ダビング時　:「信号切換」(➜45)で選んだあと、ダビングを行う(➜63)

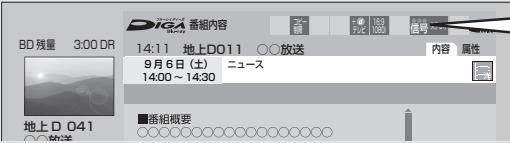
画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード(例:HE、HL、HM、HB)で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や HG など高画質の録画モードをお使いになることをおすすめします。

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。
このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。

番組を視聴中のときは、
[音声]を押して、
音声を切り換えて
確認することもできます。

例えば、日本語と英語の二ヵ国語放送を記録する場合

	記録先	デジタル放送のマルチ音声	デジタル放送の二重音声
両方の音声を記録する こんにちは Hello	**BD-RE** **BD-R** **HDD**	DRモードを選ぶ	録画モードにかかわらず両方の音声が記録されます
	RAM(AVCREC) **-R(AVCREC)**	両方の音声を記録することはできません。 ●記録する音声を選ぶには(➜ 下記)	
片方の音声のみ記録する こんにちは ●記録する音声を選ぶには(➜ 下記)	**BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** **HDD**	DR モード以外を選ぶ	― （両方の音声を記録します）

		デジタル放送のマルチ音声
記録する音声を選ぶには	録画時	●**直接録画の場合** 「信号切換」(➜19)の「音声」 ●**予約録画の場合** 予約時の「信号設定」(➜28)の「音声」
	ダビング時 **HDD**	「信号切換」(➜45)の「音声」で音声を選んだあと、ダビング(➜63)

記録の制限について

デジタル放送の録画

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。

ブルーレイディスク

市販されているディスクはそのまま使用できます。

DVD

著作権保護技術を持ったCPRMに対応している必要があります。

パッケージに CPRM対応 の記載のあるDVDを準備してください。

（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

デジタル放送の 4:3 映像の記録

「HG」、「HX」、「HE」、「HL」、「HM」、「HB」モードで記録すると、左右に黒帯のついた 16:9 映像として記録されます。

標準画質で放送されている番組の記録

放送によっては、「DR」モードよりも他の録画モードで記録するほうが、記録容量が大きくなる場合があります。

録画

再生する

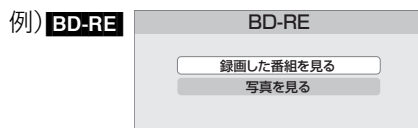
録画した番組を再生する

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **HDD**

(他の機器で記録したVR方式またはビデオ方式のディスクも再生することができます)

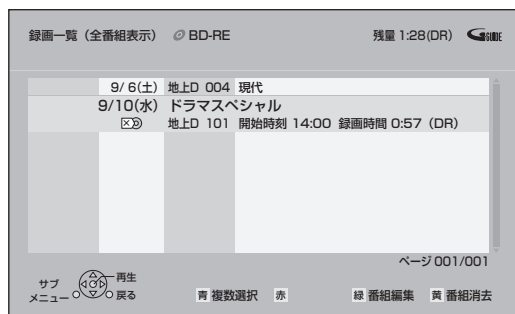
ディスクを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) **BD-RE**

BD-RE
録画した番組を見る
写真を見る

「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押す

●下記の手順2に進みます。

1 録画一覧 **を押す**

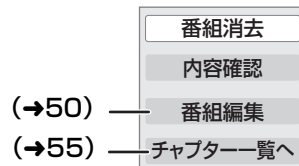
2 番組を選び、決定 を押す

●[|◀◀] [▶▶|] を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。押し続けると、すばやく切り換わります。

録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、サブメニュー S を押す**

❷ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

例) **BD-RE**

番組消去 **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** **HDD**	「消去」を選び、[決定]を押す
内容確認	番組の内容が確認できます。 **画面を消すには** [決定]を押す

お知らせ

●表示マークについては ➜ ? 操作ガイド

● マークについて

HDD シンプルリモコンを使って録画や予約した番組に表示されます。

● **HDD** 録画一覧表示中に[赤]を押すと、かんたんダビング(➜58)を行うことができます。

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

BD-V DVD-V

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 **ディスクを入れる**

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[▶ **再生**] を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合

項目を選び、決定 を押す

メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中: [**サブ メニュー**] を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中: [**録画一覧**] を押す

DVD-V [**録画一覧**] を押す
([**サブ メニュー**] を押して、「トップメニュー」を選ぶ)

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中: [**録画一覧**] を押す

- 停止中に [1] ～ [10] を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。
DVD-V : 2けた入力 BD-V : 3 けた入力

撮影したハイビジョン動画 (AVCHD) を再生する

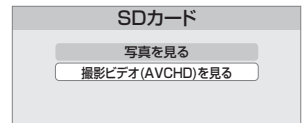
AVCHD

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画 (AVCHD) を再生することができます。

ディスクまたは SD カードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) SD

下記の手順 3 に進みます。

1

を押す

2 SD カードの場合:

「SD カード」を選び、決定 を押す

ディスクの場合:手順 3 へ

- 別売の HDD(DY-HD500) を接続時、「ブルーレイ (BD)/DVD」を選んでください。

3 **「撮影ビデオ(AVCHD)を見る」を選び、決定 を押す**

4 **タイトルを選び、決定 を押す**

メニューが表示されないときは

[1] ～ [10] で3けた入力してタイトルを再生してください。

再生

お知らせ

- BD-V 市販の映画などが記録された BD ビデオは、以下の場合に再生することはできません。
  - ·HDD DR モード以外で録画中
  (再生中にDRモード以外の予約録画が始まると再生を終了します)
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■ **停止**] を押して停止させてください。

再生する(つづき)

再生中のいろいろな操作

停止

を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

●ディスク:前回止めた位置のみを記憶
- ・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
- ・BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

●HDD:番組ごとに止めた位置を記憶

一時停止

[一時停止] **を押す**

●もう一度押す、または[▶ **再生**]を押すと、再生を再開します。

早送り・早戻し(サーチ)

[早戻し ◀◀] **または**

を押す

押すごとに、または押し続けると速度が速くなります。(5 段階)

●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に

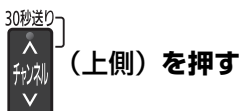
[|◀◀ スキップ] **または** [▶▶| スキップ] **を押す**

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

●チャプターマーク(➜**54**)がある場合は、その場面に飛びます。

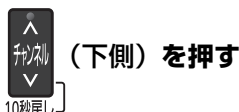
●HDD まとめ再生中(➜**49**)は、前後の番組も含めて飛び越します。

30 秒先へ飛び越す

(上側)を押す

押すごとに、約30秒先へ飛び越して再生します。

●DVD-V 正しく働かない場合があります。

10 秒前へ戻す

(下側)を押す

押すごとに、約10秒前に戻して再生します。

●DVD-V 正しく働かない場合があります。

早見再生(1.3 倍速)

[1.3倍速 ▶ 再生] **を約 1 秒以上押す**

通常よりも速い速度で再生します。

●もう一度[▶ **再生**]を押すと、通常再生に戻ります。

●-RW(ファイナライズ後も含む)ではできません。

●BD-RE 録画中に、ディスクの早見再生はできません。

スロー再生

一時停止中に

[早戻し ◀◀] **または** [早送り ▶▶] **を押す**

押すごとに速度が速くなります。(5段階)

●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。

●以下の場合は、送り方向のみ働きます。
- ・BD-V AVCHD
- ・BD-RE 録画中にディスクを再生する場合

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

(左または右)を押す

押すごとに 1 コマずつ送り(戻し)ます。

●押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。

●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。

●BD-V AVCHD コマ戻しはできません。

●BD-RE 録画中に、ディスクのコマ送り(コマ戻し)はできません。

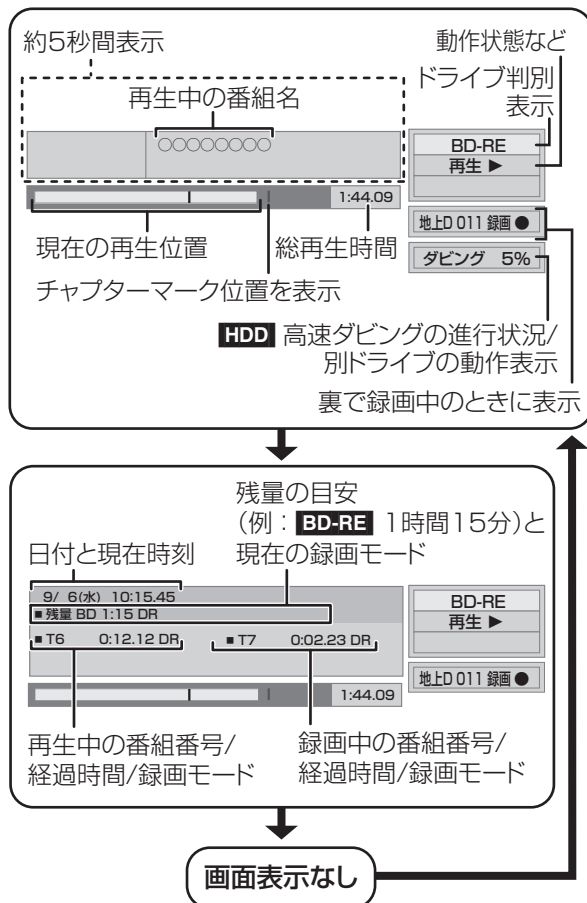
操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示 を押す

●押すごとに切り換わります。

例) BD-RE

画面表示なし

残量表示について

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。(DR モードは、特にそのばらつきが大きくなります)

お知らせ

●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部できない操作があります。

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

操作方法(➜18)

音声の切り換え

音声 を押す

●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

1 BD/DVD を押す

2 サブメニュー S を押す

●表示されない場合、もう一度 [**サブ メニュー**] を押してください。

3 「プレイリストを見る」を選び、決定 を押す

4 プレイリストを選び、決定 を押す

BD-Live 対応の BD ビデオや副映像のある BD ビデオを楽しむには

お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、外部メモリー(ローカルストレージ)に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

●本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live 機能を利用できません。

❶ **ネットワーク接続と設定をする**
(➜ 準備編 10、準備編 16)
❷ **「BD-Live インターネット接続」(➜81)を「有効」または「有効(制限付き)」に設定する**
❸ **1GB 以上の残量がある SD カードを入れる**
❹ **ディスクを入れる**

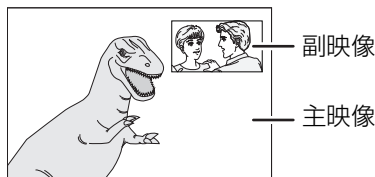
●SDカードに記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**(➜74、手順4で「BDビデオデータ消去」を選んでください)**

お知らせ

●インターネットに接続してBD-Liveコンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
●BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と同時に楽しむことができます。

例)

●副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声·操作音」**(➜82)**を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは
「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。**(➜45)**

信号切換や再生方法の設定などをする

1 再生中に
再生設定 **を押す**

2 **メニューを選び、[▶] を押す**

例) DVD-V

ディスク	音声情報	1日 LPCM 48k 16b
再生	字幕情報	入 1日
映像	アングル	1
音声		

メニュー 設定項目 設定内容

3 **設定項目を選び、[▶] を押す**
●ディスクにより設定項目は異なります。

4 **設定を変更する**

お知らせ
●映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

ディスク

映像情報 AVCHD
情報の表示のみ

音声情報
音声や言語の選択または音声属性の表示

信号切換
DR モードの番組は音声などを切り換えます。
「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
[決定] を押して、さらに設定します。
▶ **マルチビュー**
▶ **映像**
▶ **音声**
▶ **二重音声**
▶ **字幕(オン / オフ)**
▶ **字幕言語(日本語 / 英語)**

BD-V
▶ **主映像**
· **映像情報 / 音声情報**
▶ **副映像**
· **映像情報(入 / 切)/ 音声情報(入 / 切)**

字幕情報
字幕表示の入 / 切や、言語の選択

音声チャンネル
音声(L/R)を切り換えます。

字幕スタイル
ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

アングル
アングルを選びます。

●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

信号切換や再生方法の設定などをする(つづき)

再生

リピート

繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

- ▶ **番組** :録画した番組全体を繰り返し再生
- ▶ **タイトル** : BD-V DVD-V AVCHD タイトル全体を繰り返し再生
- ▶ **チャプター** :再生中のチャプターを繰り返し再生
- ▶ **プレイリスト**:プレイリスト
- ▶ **全曲** :ディスク全体
- ▶ **1 曲** :選んだ曲のみ

ランダム(音楽再生時のみ)

●「入」にすると、順不同に再生します。

自動 CM 早送り

CM を自動的に飛ばして再生します。音声が下記の場合に働きます。

番組(タイトル)	CM	番組(タイトル)
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	スキップ	再生

・録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
例:上図の CM 部分が 5 分以上の場合など

・以下の場合は働きません。
- DR モードの番組
- マルチ音声の番組

映像

画質選択

再生時の画質を選びます。

- ▶ **ノーマル** :標準
- ▶ **ソフト** :ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▶ **ファイン** :輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▶ **シネマ** :映画鑑賞向け
- ▶ **ユーザー** :さらに画質を調整

[▶] で「詳細画質設定」を選び、**[決定]** を押す
・**コントラスト**(白黒の強弱)
・**ブライトネス**(画面全体の明るさ)
・**シャープネス**(鮮やかさ)
・**カラー**(色の濃さ)
・**ガンマ**(暗くて見えにくい映像の輪郭)

HD オプティマイザー

「入」にすると、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

プログレッシブ

480pのプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

●「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

音声

音質効果

リ . マスター※

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。
(サンプリング周波数が48 kHz以下で記録された音声のみ)

ナイトサラウンド※

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶ **リ . マスター強**
▶ **リ . マスター標準**
▶ **ナイトサラウンド**
▶ **切**

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- リ.マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

シネマボイス※

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを 2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※ HDMI 出力時には、「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(➜82)(ただし、2 チャンネルの音声になります)

別売の HDD(DY-HD500) 接続時に追加される再生機能

録画一覧について

ラベルについて HDD

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類して表示されます。お好みでマイラベルに分類すると、さらに番組を探しやすくなります。
また、ドライブ切り換えの操作なく、ラベルを選ぶだけでディスクの番組を表示することができます。

ディスク		ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示） ●BD-V DVD-V では表示されません。
HDD	すべて	すべての番組
	最新録画番組	最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	未 未視聴	録画してまだ見ていない番組 ●再生後は、「未 未視聴」から除外されます。
	新 おまかせ	「新番組おまかせ録画」(➜34)で録画された番組 ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「新 おまかせ」から除外されます。
	ドラマ、映画などの「ジャンル」	録画した番組の番組情報をもとに、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル	「マイラベル設定」(➜35、52)で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。(➜49「分類ラベル設定」)

録画一覧上での便利な機能 HDD

録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、サブメニュー S を押す**

- HDD 「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル(➜48)を選んでから[サブ メニュー]を押してください。

❷ **項目を選び、決定を押す（➜ 下記へ）**

先頭から再生 **つづきから再生** HDD	前回停止した位置から再生するか、最初から再生するか選ぶことができます。
分類ラベル設定 HDD	録画一覧に表示するラベルを変更します。 ●「すべて」ラベルは変更できません。 分類ラベル設定 分類ラベルを変更します。 ラベルの分類を選択してください。 現在の設定 最新録画番組 マイラベル ジャンル 最新録画番組 未 未視聴 新 おまかせ 決定 戻る **表示させたいラベルを選び、[決定] を押す** ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、**[決定]** を押す ② 「名称変更」を選び、**[決定]** を押す （ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください） ③ ラベル名を入力する **(➜71)**
全番組表示へ **まとめ表示へ** HDD	表示を切り換えます。

まとめ 番組の再生 HDD

毎日･毎週予約した番組は、録画一覧画面で まとめ 番組として表示されます。

■番組を選んで再生する

❶ **まとめ 番組を選び、決定 を押す**

❷ **再生する番組を選び、決定 を押す**

■番組を連続して再生する（まとめ再生）

まとめ 番組を選び、▶再生 を押す

- まとめ 番組内の番組を連続で再生します。

まとめ 番組の番組名について HDD

「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。

「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。**(➜50)**

- 「すべて」ラベル選択時のみ編集できます。
- まとめ 番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集 HDD

- 「すべて」ラベル選択時のみ編集できます

❶ **番組を選び、青 を押す**

- ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

❷ **すべて選んだあと、サブメニュー S を押す**

❸ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

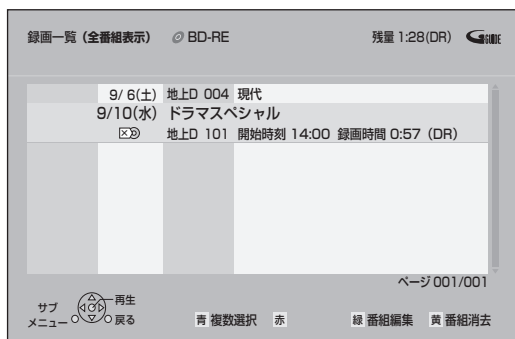
まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。 **「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。 （まとめ番組一覧表示のとき） **「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

番組を編集する

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) HDD

(ファイナライズしたディスクでは編集できません)

1 **を押す**

2 番組を選び、緑を押す

例) BD-RE

3 項目を選び、決定を押す(➜右記へ)

例) BD-RE

- 番組名編集
- プロテクト設定
- プロテクト解除
- 部分消去
- 番組分割

番組名編集	文字入力(➜71) お知らせ ● HDD 新 表示の番組は変更できません。 ● HDD まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。
プロテクト設定 / 解除	記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定ができます。 **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定]を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
部分消去	 ① **[▶ 再生]を押して、再生を始める** ② **「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で[決定]を押す** ③ **[▶ 再生]を押して、再生を始める** ④ **「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で[決定]を押す** ●続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、**[決定]**を押す(**➜手順②へ**) ・20区間まで設定できます。 ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。 ⑤ **「消去開始」を選び、[決定]を押す** ⑥ **「実行」を選び、[決定]を押す** ●部分消去した場面には、チャプターマークが作成されます。

お知らせ

- ディスクに録画中に、ディスクの編集はできません。
- HDD 「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「番組結合」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。

番組分割	 ① **「分割」を選び、分割する場面※で[決定]を押す** ●「プレビュー」を選び、[**決定**]を押すと、分割する場面を確認することができます。 **場面を選び直すには** ① 「分割」を選び、[**▶ 再生**]を押して再生を始める ② 分割する場面で、[**決定**]を押す ② **「終了」を選び、[決定]を押す** ③ **「分割」を選び、[決定]を押す** ●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。 ● **HDD** 分割した番組は、まとめ 番組になります。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生など(**➜42**)を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で [**❚❚ 一時停止**] を押し、[**◀❚❚**] [**❚❚▶**] を押して場面を調整する

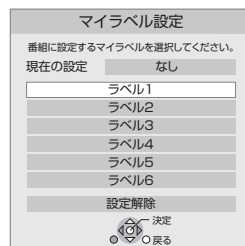
編集

別売の HDD(DY-HD500) 接続時に追加される編集機能

1 [録画一覧] を押す

2 番組を選び、[緑] を押す

3 項目を選び、[決定] を押す(➜下記へ)

番組結合 HDD	HDD にある 2 つの番組を 1 つの番組に結合することができます。以下の番組同士を結合することができます。 ●DR モードの番組同士 ●HG、HX、HE、HL、HM、HB モードの番組同士 ① **結合したい番組を選び、[決定]を押す** ② **「結合」を選び、[決定]を押す** お知らせ ●結合した番組は以下のようになります。 ・録画モード: 画質の高いほうの録画モード(ただし、画質は向上しません) ・ダビングの残り可能回数: 少ないほうの回数 ・番組名:最初に選択した番組名 ・チャプターマーク: 結合した位置に作成(結合してチャプターマーク数が999を超える場合、超えた分は削除されます) ・番組の結合部分:映像や音声が途切れることがあります。 ●以下の番組は結合できません。 ・録画時間の合計が 8 時間を超える場合
サムネイル変更 HDD	録画一覧で表示される画像(サムネイル)を変更します。 ① **[▶ 再生]を押して、再生を始める** ② **「変更」を選び、お好みの場面※で[決定]を押す** **場面を選び直すには** ① 「変更」を選び、[▶**再生**]を押して再生を始める ② お好みの場面で、[**決定**]を押す ③ **「終了」を選び、[決定]を押す**
マイラベル設定 HDD	録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。 ① **ラベルを選び、[決定]を押す** ② **「マイラベル設定」を選び、[決定]を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、[**決定**] を押してください。 ●マイラベル名は変更することができます。(➜ 49「分類ラベル設定」)

録画モード変換 **HDD**

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

録画モードを変換すると、記録容量をおさえることができます。

① **録画モードを選ぶ**

② **「開始方法」を選び、開始方法を設定する**

- **すぐに**:
  「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。
- **電源 [切] 後**:
  電源切後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

③ **「確定」を選び、[決定] を押す**

④ 「すぐに」開始する場合:

「開始」を選び、[決定] を押す

変換を実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

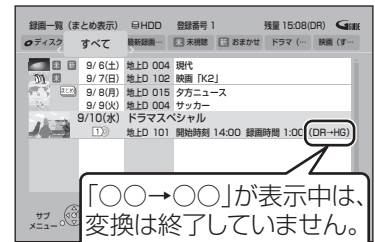
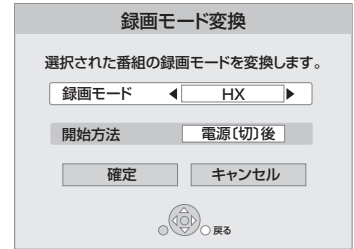
「電源 [切] 後」開始する場合:

[決定] を押す

変換の設定内容を変更・取り消しするには

① **52 ページ**手順 **3** で「録画モード変換」を選ぶ

② 「設定変更」または「設定取消」を選び、**[決定]** を押す

変換が終了しているか確認するには

お知らせ

- 変換前の録画モードより高画質な録画モードを選ぶことはできません。
- 記録残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- 複数の映像や音声などを含む DR モードの番組を変換する場合、変換後の映像や音声は 1 つだけになります。記録する映像や音声を選んで変換したい場合、変換を開始する直前に「信号切換」(➔**45**)で記録したい音声を選んでください。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生など(➔**42**)を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で **[❚❚ 一時停止]** を押し、**[◀❚❚] [❚❚▶]** を押して場面を調整する

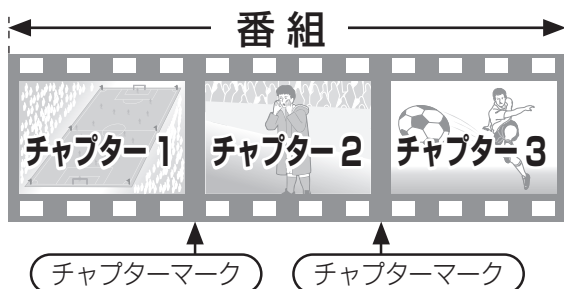
編集

チャプターの作成・再生・編集

BD-RE BD-R RAM -R -RW HDD

（ファイナライズしたディスクや他の機器で記録したVR 方式またはビデオ方式のディスクでは再生のみできます）

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ(➜42)すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。

チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」(➜81)を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。
- 自動 CM 早送り(➜46)が働く場面にもチャプターマークが自動的に作成されます。（1 番組あたり最大 98 個）
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ

- HDD チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能(➜42)や「サムネイル変更」(➜52)ができなくなります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

[チャプターマーク] を押す

削除

一時停止中に

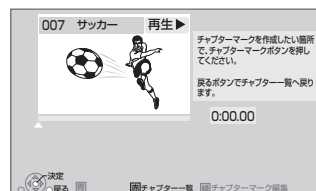
❶ **[スキップ ⏮] または [スキップ ⏭] を押して、削除したい場面に飛ぶ**

❷ **[チャプターマーク] を押す**

❸ **「はい」を選び、[決定] を押す**

前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

① **[録画一覧] を押す**
② **番組を選び、[サブ メニュー] を押す**
③ **「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す**
④ **[緑] を押す**

⑤ **上記「作成」「削除」の手順を行う**

チャプターを再生・編集する

1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、サブメニュー S を押す**

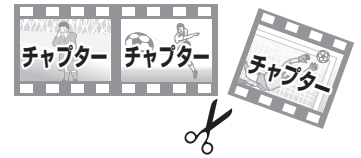
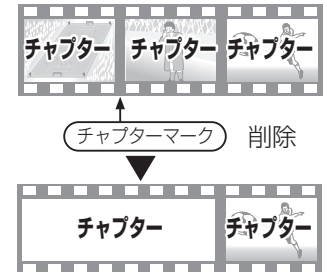
3 **「チャプター一覧へ」を選び、決定 を押す**

4 編集する：
チャプターを選び、サブメニュー S を押す
（➜ 手順５へ）

再生する：
チャプターを選び、決定 を押す

5 **編集する項目を選び、決定 を押す**
（➜ 右記へ）

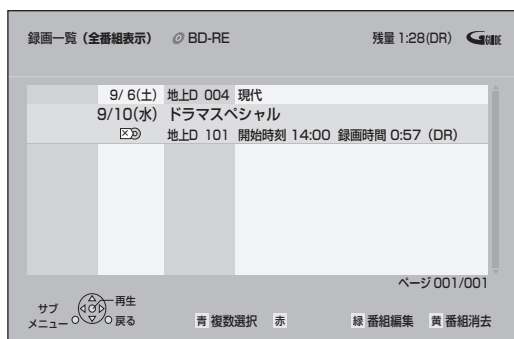
チャプター消去
チャプター結合

チャプター消去	指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。（元に戻すことはできません） **「消去」を選び、[決定] を押す** ●チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、１つにつなぎます。 前後のチャプターが結合されます。 **「結合」を選び、[決定] を押す**

編集

番組を消去する

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) HDD

1 [録画一覧] を押す

2 番組を選び、[黄] を押す

- HDD [まとめ]番組内の番組を消去する場合、[黄]を押す前に、[決定]を押して、[まとめ]番組内の番組を表示してください。

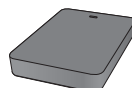
3 「消去」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 消去後のディスク残量について
  - ・BD-RE RAM(AVCREC) HDD
    消去すると、消去した分、残量が増えます。
  - ・BD-R -R(AVCREC) 消去しても残量は増えません。

番組をダビングする

[別売の HDD(DY-HD500) 接続時の追加機能]

ダビングは別売のHDD(DY-HD500)を本機に接続している場合のみ行えます。

本機には複数のダビング方法があります。用途に応じたダビング方法を行ってください。

録画した番組のダビング

から

(AVCREC方式)

へ

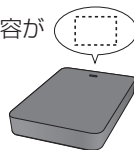
※ HDD内で複製することもできます。

- 難しい設定なしに、番組をダビングしたい
  ・・・**かんたんダビング(➜58)**
- お好みの設定でダビングしたい
  ・・・**詳細ダビング(➜60)**※
- 再生中の番組をダビングしたい
  ・・・**再生中番組の保存(➜62)**
  - 音声や字幕情報を選んで記録するのに便利です。

コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、ディスクの場合は ⊠ を表示し、ダビングや移動はできません。HDDの場合は 10 または 1 を表示します。

10 ～ 1 はダビングの残り可能回数を表します。

1 の番組をダビングすると、ダビング元の番組は消去されます。(複製はできません)

ダビング元

ダビング先

- プロテクト設定(➜50)されている 1 の番組はダビングできません。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp

☞ 複数の音声や字幕情報を含んだ番組のダビングについて(➜63)

DVDにデジタル放送をダビングする場合

CPRM対応

のDVDをお使いください。

お知らせ

- ディスクやSDカードからHDDへの番組や写真、ハイビジョン動画(AVCHD)の記録はできません。また、SD カードからディスクへの写真やハイビジョン動画(AVCHD)の記録もできません。

番組をダビングする

[別売の HDD(DY-HD500) 接続時の追加機能](つづき)

かんたんダビング

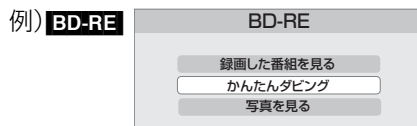
ダビング方向:

HDD ➡ BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

HDD に録画した番組をディスクにダビングします。

●新品など未フォーマットのディスクにダビングするには、フォーマットしてください。(➜74)

ディスクを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) BD-RE

「かんたんダビング」を選び、[決定] を押す

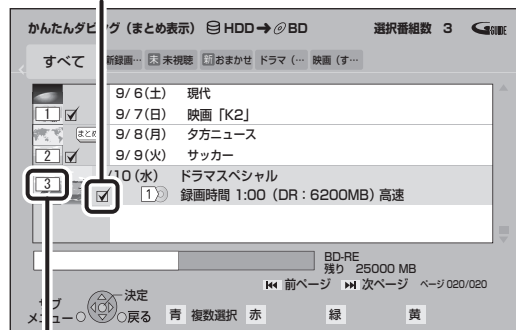
●右記の手順4 に進みます。

1 **を押す**

2 **「ダビングする」を選び、決定 を押す**

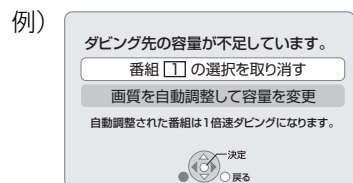
3 **「かんたんダビング」を選び、決定 を押す**

4 **番組を選び、決定 を押す**

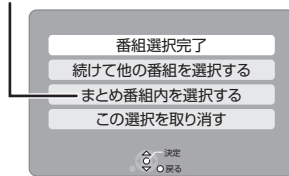
☑ が表示されます。

選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順にダビングされます。

選んだ番組がディスク残量を超える場合

確認画面が表示されます。

例)

「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

5 「番組選択完了」を選び、決定 を押す

手順 4 でまとめ番組を選んだときのみ表示

他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。(➜ 手順 4 へ)

6 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

●オプション設定について(➜ 右記)

7 「はい」を選び、決定 を押す

●新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

高速ダビングの進行状況を確認するには

画面表示 を押す

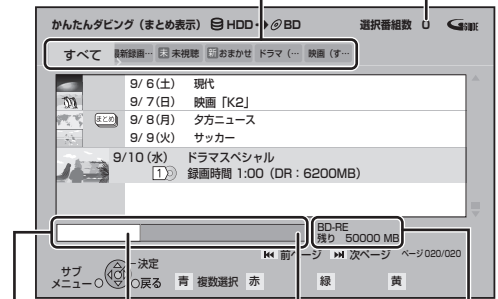
ダビングを実行中に中止するには

戻る を 3 秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。
●中止時の動作(➜63)

お知らせ

●1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。(まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が 99 番組を超えると、ダビングできません)
●プロテクト設定(➜50)されている 1 の番組はダビングできません。
●表示マークについては ➜ ? 操作ガイド

かんたんダビングの画面の見かた

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面(➜58 手順 4)で

❶ 番組を選び、サブメニュー S を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す (➜ 下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	☑ が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	**項目を選び、設定する** ●「ダビング終了後自動ファイナライズ」を「する」にすると、-R(AVCREC) へのダビング終了後に、ファイナライズを行います。
並び替え※	表示順を変更します。 (全番組表示時のみ)
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

※ 番組に ☑ が付いているときはできません。

番組をダビングする

[別売の HDD(DY-HD500) 接続時の追加機能](つづき)

詳細ダビング

ダビング方向:

HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

HDD に録画した番組をディスクにダビングしたり、HDD 内に複製することができます。

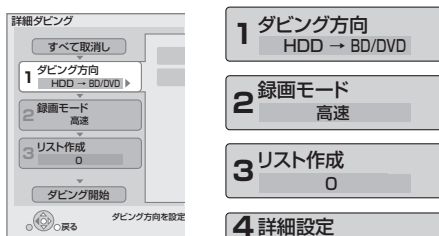
●新品など未フォーマットのディスクにダビングするには、フォーマットしてください。(➜74)

1 **を押す**

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶] を押す(➜ 右記へ)

●「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

☞ **ダビングの進行状況を確認するには**

画面表示 を押す

☞ **ダビングを実行中に中止するには**

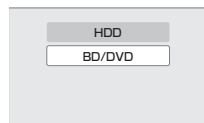
戻る を 3 秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。

●中止時の動作(➜63)

ダビング方向

❶ **「ダビング先」を選び、決定 を押す**

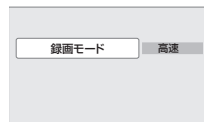
❷ **ダビング先を選び、決定 を押す**

❸ **[◀] を押す(➜ 左記手順 4 へ)**

お知らせ

●ダビング先をHDDにすると番組を複製することができます。(複製後は まとめ 番組になります)

・コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります)

・ 1 表示のある番組の複製はできません。

録画モード

❶ **「録画モード」を選び、決定 を押す**

❷ **録画するモードを選び、決定 を押す**

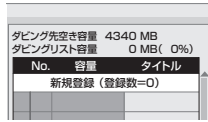
❸ **[◀] を押す(➜ 左記手順 4 へ)**

お知らせ

● RAM(AVCREC) -R(AVCREC) DR モードの番組をダビングする場合、「高速」は選べません。

●ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。

リスト作成

❶「新規登録」を選び、[決定] を押す

❷ 番組を選び、[青] を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❸ すべてを選んだあと、[決定] を押す

❹ [◀] を押す（➜60 手順４へ）

お知らせ

- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
  ・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

（-R(AVCREC) へダビングするときのみ）

❶「ファイナライズ」を選び、[決定] を押す

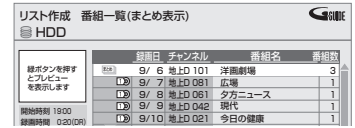
❷「入」または「切」を選び、[決定] を押す

❸ [◀] を押す（➜60 手順４へ）

お知らせ

- 「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ(➜76)を行います。記録や編集をすることはできなくなります。

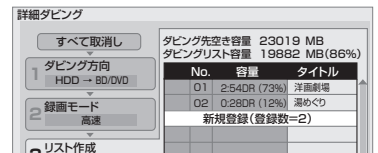
ダビングの便利な機能

リスト作成画面(➜ 左記「リスト作成」手順 ❷)で

❶ 番組を選び、[サブ メニュー] を押す

❷ 項目を選び、[決定] を押す（➜ 下記へ）

内容確認※	番組の内容が確認できます。
並び替え※	表示順を変更します。（全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

※ 番組に ☑ が付いているときはできません。

リスト作成画面(➜ 左記「リスト作成」手順 ❶)で

- 登録されたリストや設定を取り消す：
  「すべて取消し」を選び、[決定] を押す
- リスト項目を入れ替える：
  番組を選び、[決定] を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの追加や消去、移動などの編集をする：
  [サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ
  ・リスト全消去
  ・追加
  ・消去
  ・移動

番組をダビングする

[別売の HDD(DY-HD500) 接続時の追加機能](つづき)

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中に、ディスクにダビングすることができます。
- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向:

HDD ➡ BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
- 新品など未フォーマットのディスクにダビングするには、フォーマットしてください。(➜74)

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合:
- RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  [音声]を押して記録したい音声を選び、「信号切換」(➜45)で字幕情報の設定をする

2 サブ メニュー S を押す

- 表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す

ダビングの進行状況を確認するには

画面表示 を押す

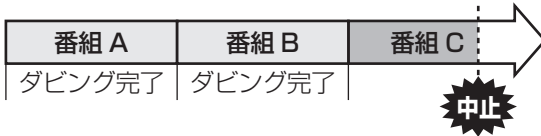
ダビングを実行中に中止するには

戻る を 3 秒以上押す
- 中止時の動作(➜63)

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例）番組 A·B·C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合

番組 A	番組 B	番組 C
ダビング完了	ダビング完了	中止

番組 A·B のみダビングされます。
番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。

BD-R -R(AVCREC) 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数(➜103)を超えると、超えた分は保持されません。

複数の音声や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

HDD に録画した DR モードの番組をダビングする場合、音声や字幕情報は以下のようになります。

- BD-RE BD-R（高速でダビング時）
  複数の音声や字幕情報を記録できます。（再生時に切り換え可能）
- BD-RE BD-R（1 倍速でダビング時）
  RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  複数の音声や字幕情報の記録はできません。（再生時に切り換え不可）
  ダビング前に記録したい音声や字幕の入 / 切を設定してください。

  ① ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
  ·**[音声]**を押して記録したい音声を選ぶ
  ·「信号切換」**(➜45)**で字幕の設定をする
  ② ダビングする（1 倍速ダビングになります）

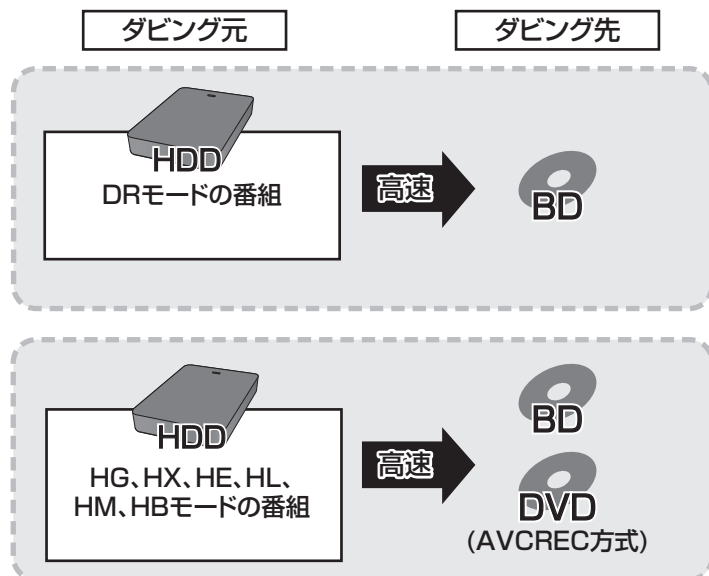
  字幕の設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1 番組ずつダビングしてください。

番組をダビングする

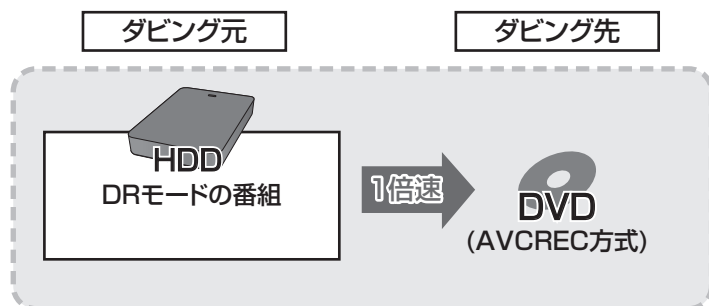
[別売の HDD(DY-HD500) 接続時の追加機能](つづき)

ダビング時の動作について (つづき)

ダビングする番組とディスクによりダビング速度は異なります。

高速でダビングできる場合

●高速ダビングでの録画モードは、ダビングする番組と同じです。

●ディスク容量を超えてダビングする場合は、1 倍速ダビングになります。

高速でダビングできない場合(1 倍速ダビングになる場合)

写真(JPEG)を再生する

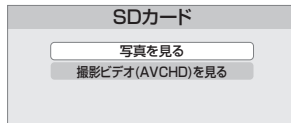
基本操作 選び ➡ 決定する

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD +R、+R DL、+RW

- CD 写真(JPEG)を記録したCD-R、CD-RW が再生できます。

ディスク、SD カードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例)SD

SDカード
写真を見る
撮影ビデオ(AVCHD)を見る

- 下記の手順 3 に進みます。

1 **を押す**

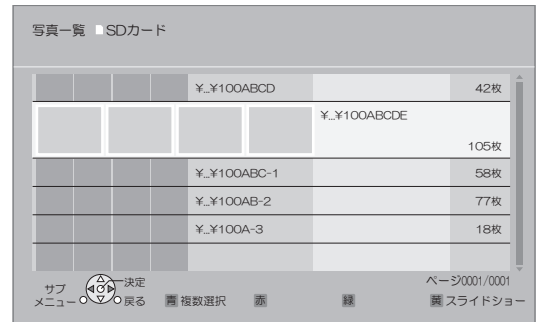
2 SD
「SD カード」を選び、決定 を押す

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD
+R、+R DL、+RW **手順 3 へ**

- 別売の HDD(DY-HD500) を接続時、「ブルーレイ (BD)/DVD」を選んでください。

3 「写真を見る」を選び、決定 を押す

4 フォルダを選び、決定 を押す

例)SD

5 写真を選び、決定 を押す

再生を止めるには

停止 を押す

- 止めた写真の位置を一時的に記憶します。

前後の写真を見るには

[◀][▶] を押す

写真の情報を表示するには

 画面表示 を押す

スライドショーを見るには

再生 を押す

お知らせ

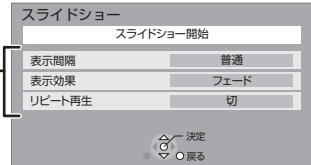
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯(グレー帯)が表示される場合があります。
- 写真は、フォルダごとに表示します。
「¥...¥」はフォルダの階層を表します。
- ☒ の表示になっている写真は、本機では再生できません。

ダビング
写真

写真再生のいろいろな機能

写真一覧表示中または写真再生中に操作します。

1 サブ メニュー Ⓢ **を押す**

- 表示されない場合、もう一度[**サブ メニュー**]を押してください。

2 **項目を選び、**決定 **を押す**

写真一覧表示中

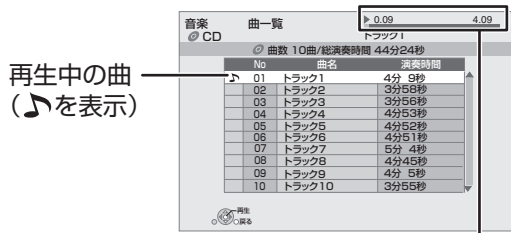
スライドショー	写真を連続して再生することができます。 **「スライドショー開始」を選び、[決定]を押す** 開始前に、スライドショーの内容を設定できます。(➜ 下記) **スライドショーを終了するには** [**戻る**] を押す **表示間隔** 画素数が大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。 **表示効果** 写真の表示方法を設定します。 ●「フェード」「ランダム」「モーション」が選べます。 **リピート再生** 再生を繰り返します。

写真再生中

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面モード切換	画面モードを切り換えます。(➜18)
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右90°回転 **左90°回転**	写真を回転します。

音楽 CD を再生する

CD

音楽 CD を入れる

再生中の曲の経過時間/
現在の再生位置/演奏時間

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには

再生したい曲を選び、[**決定**] を押す

音楽再生中のいろいろな操作

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

●再生中に、以下の再生設定を行うことができます。
「リピート」「ランダム」「リ. マスター」
「ナイトサラウンド」(➜46、47)

写真

音楽

ビエラリンク(HDMI)を使う

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

本機とHDMIケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。

■ **設定**

① **「ビエラリンク制御」(➜83)を「入」にする**
(お買い上げ時の設定は「入」)

② **別売の HDD(DY-HD500) を接続している場合:「ビエラリンク録画待機」(➜83)を「入」にする**
- 「クイックスタート」(**➜80**)は自動的に「入」になり、本機の電源「入」に伴う連動操作をすばやく行えます。(待機時消費電力は増えます)

③ **接続した機器側(テレビなど)で、ビエラリンク(HDMI)が働くように設定する**

④ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**
(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

ビエラリンク(HDMI)対応機器の確認

機器にビエラリンク(HDMI)のロゴマーク(**➜ 下記**)が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

VIERA Link

お知らせ

- ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機はビエラリンク(HDMI)Ver.5 に対応しています。ビエラリンク(HDMI)Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2010 年 12 月現在)
- 「ビエラリンク録画待機」(**➜83**)が「入」の場合など、本機の電源を切ってもテレビの無信号自動オフ機能は働きません。

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

(本機のリモコン)：本機のリモコンで操作できます。

(テレビのリモコン)：テレビのリモコンで操作できます。

Ver.○以降：接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク(HDMI)に対応している場合に操作できます。

入力自動切換え / 電源オン連動

●テレビの電源が待機状態のときのみ

(本機のリモコン) Ver.1以降

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。

●本機の電源「切」時は、**[ガイド]**は働きません。

電源オフ連動

(本機のリモコン)(テレビのリモコン) Ver.1以降

●リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

お知らせ

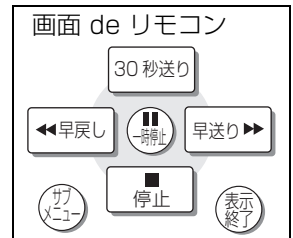
●ダビング、ファイナライズ、消去、**[録画 ●]** を押して録画などの実行中は切れません。

テレビのリモコンでディーガを操作

(テレビのリモコン) Ver.1以降

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

●**[サブ メニュー]** を押すと、再生中は下記の画面で操作することができます。

停止中は、デジタル放送メニューなどの操作をすることができます。

●ビエラリンクメニューからスタート画面を表示させると、予約の操作や番組表から放送局を選局することなどができます。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

(本機のリモコン)(テレビのリモコン) Ver.2以降

ビエラリンク(HDMI)対応のテレビ(ビエラ)とアンプを接続し、ビエラリンク (HDMI) を使っている場合、連動操作をするためテレビ(ビエラ)の電源を切ると本機の電源も切れます。

ただし、接続したテレビ(ビエラ)がビエラリンク(HDMI)Ver.2 以降に対応している場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

❶ **音楽再生中に、サブメニュー(S) を押す**

❷ **「TV のみ電源 OFF」を選び、決定 を押す**

●テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。

便利機能

ビエラリンク(HDMI)を使う(つづき)

番組ぴったりサウンド(オートサウンド連携)

本機のリモコン テレビのリモコン Ver.3以降

ビエラとアンプと接続している場合、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。
●他の機器で記録したディスクでは働きません。

設定を有効にするには
●「オートサウンド連携」(➜83)を「入」にする

ECO スタンバイ

テレビのリモコン Ver.4以降

リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を最小にします。
●電源「切」時に電源ランプが点灯しなくなります。

設定を有効にするには
●「ECO スタンバイ」(➜83)を「入」にする

別売の HDD(DY-HD500) 接続時に追加されるビエラリンク (HDMI) 機能

番組キープ HDD

テレビのリモコン Ver.3以降

視聴中の番組をHDDに一時的に記録して、あとから続きを視聴することができます。
(番組キープ終了後は削除されます)

「番組キープ●」が表示

テレビ(ビエラ)側から録画や録画予約 HDD

テレビのリモコン Ver.1以降

テレビ側からの HDD への録画や予約録画の操作が可能になります。

■録画モード・録画先
●録画(「見ている番組を録画」など):
・本機であらかじめ設定された録画モードで HDD に録画
●録画予約:
・HDD に「DR」モードで録画

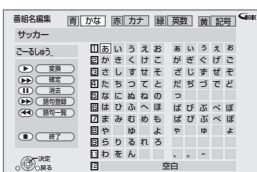
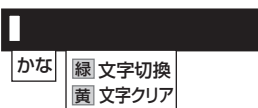
■録画予約の登録の確認
●本機の予約一覧画面で予約内容を確認できます。

■録画予約の取り消し
●「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。

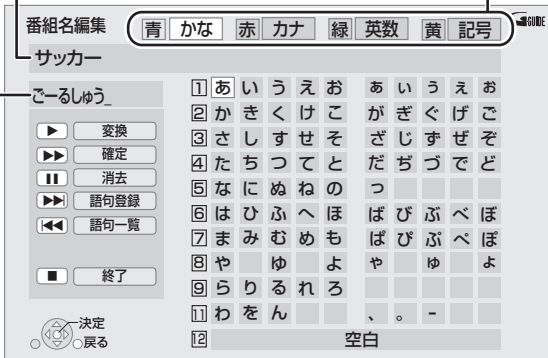
お知らせ

●チャンネルや入力の切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
●以下の場合、番組キープの一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。
・予約録画開始時刻になったとき
・番組キープが８時間を超えたとき、または記録容量がなくなったとき
●HDD が接続されていないときや本機に契約された miniB-CAS カードが挿入されていないとき、本機が番組を録画できない状態のときは、番組キープや録画を実行することはできません。
●すでに本機が「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。

文字入力

本機では、表示された画面によって 2 種類の文字入力方法があります。

文字パネル方式で文字入力する
（番組名、ディスク名などを入力するとき）

1 **青 赤 緑 黄 で文字の種類を選び、決定 を押す**

- 漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 **入力する文字を選び、決定 を押す**

- この手順を繰り返し、文字を入力します。
- ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(➜ 下記)

3 **入力が終わったら、■停止 を押す**

4 **「保存」を選び、決定 を押す**

数字ボタン [1] ～ [9]、[11]、[12] でも文字を入力できます。

例：ひらがな「す」を選ぶ場合

① **[3] を押す**
- 「さ」行に移動します。

② **[3] を 2 回押し、[決定] を押す**
- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

[▶ 再生] を押したあと、変換候補を選び、
[決定] を押す

- **[戻る]** を押すと、入力画面に戻ります。
- JIS 第 1 水準の漢字コードのみ入力可能

文字を消す

[❚❚ 一時停止] を押す

文字入力（つづき）

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

① 語句を入力したあと、[▶▶|] を押す
② 「登録」を選び、[決定] を押す

語句を呼び出す

① [|◀◀] を押す
② 語句を選び、[決定] を押す

語句の消去

① [|◀◀] を押す
② 語句を選び、[サブ メニュー] を押す
③ 「語句消去」を選び、[決定] を押す
④ 「消去」を選び、[決定] を押す

携帯電話（リモコンボタン）方式で文字入力する

（フリーワード検索などで入力するとき）

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
（番組名やディスク名はこの方法では入力できません）

1 1～12 で文字を入力する

例）「えいが」と入力するとき

1	▶	1	2	10
4回押す（え）	1回押す	2回押す（い）	1回押す（か）	1回押す（゛）

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。(➜73)

☞ **漢字に変換するには**

[▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードのみ入力可能

映画
栄華
頴娃が
英が
瑛が

2 決定 を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

映画 ― カーソル

3 「登録」を選び、決定 を押す

文字の種類を変換する

[緑] を押して文字の種類を選び、[決定] を押す

●[緑] を押すごとに、（かな→カナ→英数→数字）に切り換わります。
●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[▶] でカーソルを右に移動させる

例）「あい」と入力する場合 :[1] [▶] [1] [1] の順に押す

文節を分けて変換する

例）「えいが」の「えい」だけを変換する場合:

① 「えいが」と入力して、[▼] を押す
② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ
③ 変換候補を選び、[決定] を押す

映画
えいが
映が

記号を入力する

① “きごう” と入力する
② 変換候補を選び、[決定] を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
（カーソルの左に文字が追加されます）

文字を消す

カーソルを移動させたあと、[黄] を押す
（カーソルの文字が削除されます）

携帯電話方式での入力文字一覧表

入力モード＼ボタン	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を	
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	?	ん	
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	!	ゎ	
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	・	ー	
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	ょ	9	(	スペース	
	ぃ			4				8		)		
	ぅ									0		
	ぇ											
	ぉ											
	1											
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	?	ン	
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	!	ヮ	
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	・	ー	
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ョ	9	(	スペース	
	ィ			4				8		)		
	ゥ									0		
	ェ											
	ォ											
	1											
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	—	スペース	改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
	／	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
	_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
							S		Z	(		
							7		9	)		
										&		
										¥		
										0		
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例:「い」を入力するときは [1] を 2 回押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

便利機能

本機で記録できるようにする(フォーマット)

BD-RE BD-R RAM -R SD

● RAM -R 本機でフォーマットすると記録方式はAVCREC 方式になります。

新品または他の機器で使っていたディスクやカード

そのままでは本機で記録できない場合があります。

フォーマット
すると

本機で記録できるようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組やディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

1 スタート **を押す**

2 BD-RE BD-R RAM -R

「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

●別売の HDD(DY-HD500) を接続している場合、「ブルーレイ (BD)/DVD」を選んでください。

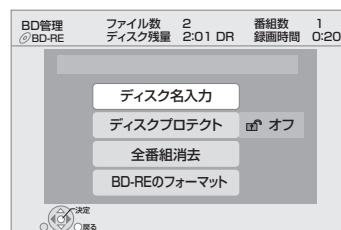
SD

「SD カード」を選び、決定 を押す

3 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

●未使用の -R の場合、「フォーマット (AVCREC 方式)」の画面が表示されます。
（➜ 手順５へ）

4 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

例）BD-RE

5 「はい」を選び、決定 を押す

6 「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

- **フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。**
- SD 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。
- HDD フォーマットは、「HDDのフォーマット」(➜81)で行ってください。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去 / ファイナライズ

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

（ファイナライズしたディスクではできません）

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定を押す

●別売の HDD(DY-HD500) を接続している場合、「ブルーレイ (BD)/DVD」を選んでください。

3 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定を押す

4 操作したい項目を選んで、決定を押す

（➜ 下記へ）

例）BD-RE

ディスク名入力

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

文字入力については（➜71）

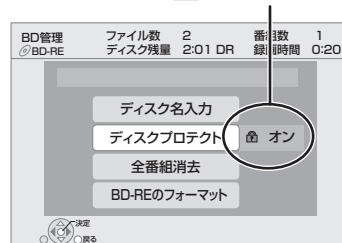
入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。

ディスクプロテクト

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

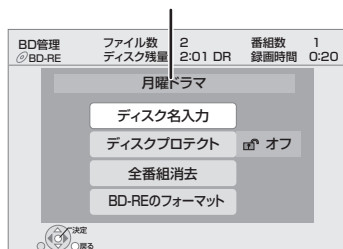
❺ **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す**

プロテクト設定すると「 オン」が表示

全番組消去

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

例）RAM(AVCREC)

全番組消去
ディスクに録画されている番組をすべて消去します。 全番組消去を行いますか?
はい　　いいえ

❺ **「はい」を選び、決定を押す**

❻ **「実行」を選び、決定を押す**

お知らせ

●全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。

● BD-R -R(AVCREC) 消去しても残量は増えません。

必要なとき

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去 / ファイナライズ(つづき)

75 ページ手順 1 ～ 4 のあとに操作します。

他の BD 機器再生(ファイナライズ)
他の DVD 機器再生(ファイナライズ)

BD-R -R(AVCREC)

❺「はい」を選び、決定 を押す

❻「実行」を選び、決定 を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。
ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- **-R(AVCREC) 他の機器で再生する場合、AVCREC 方式の再生に対応している必要があります。(➜13)**
- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。

いろいろな情報を見る（メール / 情報）

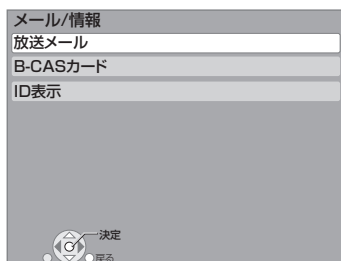
基本操作　選び→決定する

1

を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「メール / 情報」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、決定 を押す

放送メール

放送局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）を確認することができます。

確認したいメールを選び、決定 を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、miniB-CASカードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには

- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

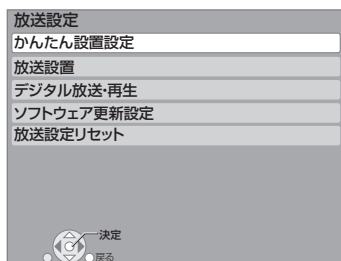
放送設定を変える(放送設定)

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「放送設定」を選び、決定 を押す

4 メニューを選び、決定 を押す

5 設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 設定内容を変更する

お知らせ

●操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。

かんたん設置設定

かんたん設置設定(➜ 準備編 15)

放送設置

チャンネル設定(➜ 準備編 19)

地上デジタル

番組表設定

G ガイド地域設定

「かんたん設置設定」(**➜ 準備編 15**)を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信

「オン」に設定すると、注目番組の情報を取得することができます。

●番組の情報はインターネットを利用して取得します。そのためネットワークの接続と設定が必要です。

●「オン」にすると、常時接続状態になります。

●2010 年 11 月現在、ネットワークから番組情報を取得できる放送局は NHK のみです。

地域設定(➜ 準備編 24)

県域設定

郵便番号

地域設定削除

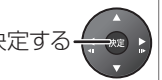
受信設定(➜ 準備編 21)

地上デジタル

アッテネーター

物理チャンネル選択

物理チャンネル(**➜準備編21**)を指定してアンテナレベルを確認します。

B-CAS カードテスト(➜ 準備編 24)

デジタル放送･再生

字幕の設定

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど(文字スーパー)を表示させるための設定です。
録画モード｢DR｣以外で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。
設定しても番組によって無効になる場合があります。

字幕

字幕言語

文字スーパー

文字スーパー言語

選局対象

デジタル放送で **[チャンネル ∧,∨]** を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- ｢設定チャンネル｣を選ぶと、チャンネル設定で設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを選局します。番組表の表示では枝番号の表示をしないようになります。

ソフトウェア更新設定

ダウンロード予約

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェア(制御プログラム)を最新のものに書き換えます。**(➜87)**

- ｢自動｣にすると、電源｢切｣時に自動的にダウンロードします。
- ｢手動｣にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。**(➜77 ｢放送メール｣)**

放送設定リセット

個人情報リセット

時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。

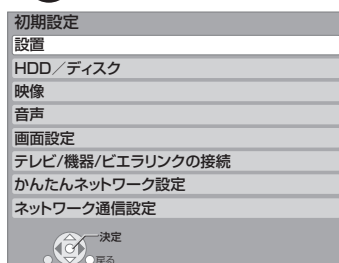
本機の設定を変える(初期設定)

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「初期設定」を選び、決定 を押す

4 メニューを選び、決定 を押す

5 設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 設定内容を変更する

お知らせ

●操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。

設置

自動電源〔切〕

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の動作(録画など)が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコンモード(➔準備編 22)

時刻合わせ(➔準備編 25)

音声ガイドの設定

番組表の内容や録画一覧、選局時、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

●実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

●「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「デジタル出力」(➔82)は自動的に「PCM」になります。(「切」に戻しても「PCM」のままです)

音声ガイド機能

読み上げ音量

読み上げ速度

クイックスタート

電源「切」状態からの起動を高速化します。

例 :番組表を約1 秒で表示します。

●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。

●「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。

・待機時消費電力が増えます。

・本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体の電源ランプが赤に点滅し、電源以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。)

・テレビと HDMI 端子で接続時は、テレビの無信号自動オフ機能が働かない場合があります。

●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。

●以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」になります。

・「ビエラリンク録画待機」(➔83):「入」

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ただし、以下の設定は戻りません。

・時刻
・DVD-Video の視聴制限
・BD-Video の視聴可能年齢
・かんたんネットワーク設定
・IP アドレス /DNS 設定
・プロキシサーバー設定

●本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン 1)に戻ります。リモコンが働かなくなった場合(本体の“お知らせ”ランプが数回点滅)、**97 ページ「リモコンが働かない」の手順③**を行ってください。

ソフトウェア更新(ネットワーク)

本機をネットワーク接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。更新する場合は、画面の指示に従ってください。

●更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
・本機の電源を切る
・電源プラグをコンセントから抜く

HDD/ ディスク

再生設定(再生専用ディスク)

DVD-Video の視聴制限※1
DVDビデオの視聴制限ができます。
制限レベルの記録されている DVD ビデオ(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢※1
BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
年齢制限の記録されている BD ビデオ(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可になります。
●「年齢入力」を選んで**[決定]**を押すと、**[1]**～**[10]**で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続※1
BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

音声言語※2
再生時の音声を選びます。
●「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語※2
再生時の字幕言語を選びます。
●「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語※2
テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード
BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**
ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画(AVCHD)が混在したディスクで再生する動画を設定します。
●「入」はハイビジョン動画(AVCHD) を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

記録設定

高速ダビング速度
高速モードでのダビング速度を設定します。
(高速記録対応ディスクの場合など)

自動チャプター
デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。
●録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

HDD 設定 HDD

HDD の登録(➜準備編 27)
別売の HDD(DY-HD500) を登録します。

HDD の取り外し(➜準備編 26)
別売の HDD(DY-HD500) を本機から取り外す前に行います。
●本機のふたを開けて、HDD の動作ランプが消灯していることを確認してから取り外してください。

お願い

この操作を行わずに HDD を取り外した場合、記録内容を損失する恐れがあります。取り外す前に必ず行ってください。

HDD 管理
全番組消去
番組をすべて消去します。
HDD のフォーマット
別売の HDD(DY-HD500) の初期化を行います。

すべての HDD 登録の取り消し(➜準備編 27)
登録されているすべての別売の HDD(DY-HD500) の登録を取り消します。

※1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って**[1]**～**[10]**で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。
※2「その他＊＊＊＊」の場合、＊には **[1]** ～ **[10]**で言語番号(➜87)を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

映像

スチルモード

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

HD ノイズフィルター

ハイビジョン信号をざらつきが少なく柔らかい画像にします。

音声

音声のダイナミックレンジ圧縮

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHDに有効

- 「オート」は、Dolby TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD
DTS/DTS-HD
AAC

音声の出力方法を選びます。

- 接続機器が、それぞれの音声に対応していない場合、「PCM」にしてください。(ただし、2 チャンネルの音声になります)
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

BD ビデオ副音声・操作音 (副音声を含む BD-V)

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

ダウンミックス

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「デジタル出力」(➜左記)が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
  - ・AVCHD 再生時
  - ・BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

画面設定

画面表示動作〔オート〕
操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能
通常は「入」に設定しておくことをおすすめします。
「入」に設定すると、以下のような動作を行います。
- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。
  [HDMI 端子と接続して、「HDMI出力解像度」(➜ 右記)が「480p」以外のとき]

電源(赤)LED 表示
電源「切」時に、本体の電源ランプの点灯･消灯の設定をします。

テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御
ビエラリンク (HDMI) に対応した機器と HDMI 端子と接続時、連動操作の設定をします。

ビエラリンク録画待機
ビエラの電源が「入」のときに、本機に接続している別売の HDD(DY-HD500) へのビエラ側からの録画がすぐに実行できる状態に設定します。
- 「入」にすると、「クイックスタート」(➜80)は自動的に「入」になります。

オートサウンド連携
ビエラリンク (HDMI)Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

ECO スタンバイ
ビエラリンク (HDMI)Ver. 4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を最小にします。
- 「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に以下の設定時と同じように動作します。
  ･「電源(赤)LED 表示」(➜ 上記):「切」
  ･「クイックスタート」(➜80):「切」
  「クイックスタート」が「入」に固定される状態の場合、待機時消費電力は最小になりません。
  ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

TV アスペクト (➜準備編 20)
接続したテレビに合わせて設定します。

HDMI 接続

HDMI 出力解像度
接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① [決定]と[青]と[黄]を同時に 5 秒以上押す
  ･本体の“お知らせ”ランプが点滅します。
② [▶]を数回押して、本体の“SD”ランプを点滅させる
③ [決定]を 3 秒以上押す
  ･本体の“DL”ランプが点滅したあと、ランプは消灯します。
  ･「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。

- 「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

HDMI RGB 出力レンジ
RGB入力のみに対応した機器(DVI機器など)との接続時に有効

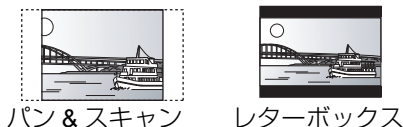
HDMI 音声出力 (➜準備編 20)

Deep Color 出力
Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング BD-V
接続する機器が7.1チャンネル･サラウンドに対応している場合、6.1チャンネル以下の LPCM 音声を自動的に 7.1チャンネルに拡張して再生します。

TV アスペクト (4:3) の設定

4:3テレビに接続時、16:9映像の映しかたを選びます。

●「パン & スキャン」は左右の切れた映像で、「レターボックス」は上下に帯のある映像で再生します。

パン & スキャン

レターボックス

DVD-Video の 16:9 映像

パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。

録画ディスクの 16:9 映像

「スルー」は、録画された映像のままで再生します。

● HDD 番組は、レターボックスで再生します。

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定(➜ 準備編 16)

ネットワーク通信設定

通常は設定不要です。

「かんたんネットワーク設定」(**➜上記**)を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

●不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

基本設定

IP アドレス /DNS 設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

●ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス/DNS設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。

●「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。

IP アドレス自動取得

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP※サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

●「IP アドレス自動取得」(**➜上記**)を「切」にしたあと設定します。

●パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS
セカンダリ DNS

手動で「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

●「DNS-IP 自動取得」(**➜上記**)を「切」にしたあと設定します。

●パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先DNSサーバー」の値を、「セカンダリDNS」にはパソコンの「代替DNSサーバー」の値をそれぞれ入力してください。

接続速度自動設定

通常は「入」を選んでおいてください。

接続速度設定

ハブやルーターとの通信ができない場合に設定してください。

- 「接続速度自動設定」(➜上記)が「切」時のみ有効
- 接続速度は、接続するネットワークの環境に合わせて選んでください。
- 設定を変えた場合、機器によっては接続できなくなることがあります。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号

接続テスト

MAC アドレス

ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch(チャンネル数)は最大チャンネル数を表示]

接続端子	HDMI 端子			
「デジタル出力」の設定	Bitstream ※1		PCM	
「BD ビデオ副音声・操作音」の設定	入※2	切	入	切
Dolby Digital Dolby Digital EX	Dolby Digital	オリジナルの音声で出力	ダウンミックス 2ch	
Dolby Digital Plus Dolby TrueHD				
DTS Digital Surround DTS-ES	DTS Digital Surround	DTS Digital Surround DTS-ES		
DTS-HD High Resolution Audio				
DTS-HD Master Audio				
7.1ch LPCM	7.1ch PCM※3			

※ 1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM(例:テレビなど)で出力します。

※ 2 BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(➜82) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 3 BD-V 副音声や操作音を含む場合、「BD ビデオ副音声・操作音」の設定が「入」のとき、5.1ch で出力します。

ソフトウェアの更新について

電源「切」の状態で、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込む(オンエアーダウンロード)ことにより、自動的に本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

- お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。**(➔79「ソフトウェア更新設定」)**

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体の“DL”ランプが点灯しています。“DL”ランプが消灯するまで本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、**絶対に電源コードを抜かないでください。**
- オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送の受信環境が必要です。
- 本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。
[➔81「ソフトウェア更新(ネットワーク)」]

言語番号一覧

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
ヴォラピュック	8679
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国(朝鮮)語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール(スコットランド)	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スペイン	6983
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タガログ	8476
タジク	8471
タタール	8484
タミル	8465
チェコ	6783
チベット	6679
中国語	9072
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア(白ロシア)	6669
ベンガル(バングラ)	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マダガスカル	7771
マライ(マレー)	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア(レット)	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

同時操作について

番組の録画中・ダビング中にできる操作

（○：できる　×：できない）

	ディスクの再生	HDD の再生	SD カードの再生	ダビング	編集	写真の再生
BD ディスクに録画中	○※1	○	○※2	×	○※3	×
DVD ディスクに録画中	×	○	×	×	○※3	×
DR モードで HDD に録画中	○	○	○※2	×	○	×
HG、HX、HE、HL、HM、HB モードで HDD に録画中	○※4	○	×	×	○	×
1 倍速でダビング中	×	×	×	×	×	×
高速でダビング中（ファイナライズあり）	×	×	×	×	×	×
高速でダビング中（ファイナライズなし）	×※5	○※6	×	×	○※3	×

※1　BD-R や本機以外でフォーマットや記録、編集したディスクに録画中に、ディスクの再生はできません。

※2　DR モードで録画中は、AVCHD の動画のみ再生できます。（写真は再生できません）

※3　ディスクに録画中やダビング中にディスクの編集はできません。

※4　DR モード以外で録画中は、市販の映画などが記録された BD ビデオや AVCHD のディスクは再生できません。

※5　HDD の番組を複製中は、再生できます。

※6　追っかけ再生などはできません。

他の操作を実行中の予約録画の動作

（○:実行する　×:実行しない）

他の操作	予約録画の実行
録画中	○※1
再生中(番組)	○※2
再生中(写真)	○※1
番組の編集の処理を実行中	○
番組を高速でダビング中(ファイナライズあり)	×
番組を高速でダビング中(ファイナライズなし)	○
番組を1倍速でダビング中	×
ソフトウェア更新中(ネットワーク)	×
フォーマット中	×
ファイナライズ中	×
番組キープ中	○※1

※1　予約録画が優先され、実行中の操作は終了します。

※2　BD ビデオや AVCHD ディスクを再生中に DR モード以外の予約録画が始まったときや、BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) や本機以外でフォーマットや記録、編集したディスクを再生中に、ディスクへの予約録画が始まると、再生は終了します。

●予約録画が実行されなかった場合、それぞれの操作終了時点から予約録画が始まります。

SD カードについて

本機で使えるカード

SD メモリーカード(8 MB ～ 2 GB)
(miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む)
SDHC メモリーカード(4 GB ～ 32 GB)
(microSDHC メモリーカードを含む)
SDXC メモリーカード(48 GB、64 GB)
(microSDXC メモリーカードを含む)

- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。**(➜74)**
- **SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。(SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます)**
  非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
- 動画 (AVCHD) の再生**(➜41)**
- 写真(JPEG) の再生**(➜65)**

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、
カードの内容を誤って消去することを防げます。

受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送 （地上デジタル）

UHF 帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。
高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。
（2010 年 11 月現在）

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上アナログテレビ放送と BS アナログテレビ放送は 2011 年 7 月 24 日までに終了することが、国の法令によって定められています。

お知らせ

- **本機では、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送、地上アナログ放送、ワンセグ放送（携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送）を受信することはできません。**
- **miniB-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。**
- 本機では、データ放送は記録できません。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画･編集ができなかった場合の内容の補償、録画･編集した内容(データ)の損失、および直接･間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動

① 電源を切る
　(本体の電源ランプが赤に点灯するまで待つ)
② 電源プラグをコンセントから抜く
●3分程度待ってから、振動や衝撃を与えないように動かしてください。

お手入れ

本体

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
●汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画･再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー(別売)でほこりなどの除去をおすすめします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。
●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能･品質には問題ありません。
本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。
●本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

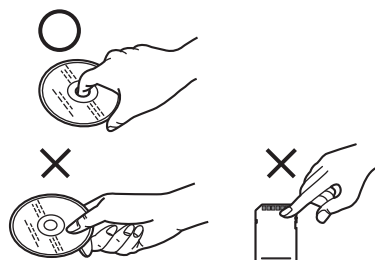
本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「個人情報リセット」(➜79)を実行し、記録された情報を必ず消去してください。
●本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

本機を修理依頼するとき

別売のHDD(DY-HD500)をお使いになっていた場合、本機の修理過程においてHDDの登録が取り消される場合があります。
再度登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

ディスク、カード

持ちかた

信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

- ディスククリーナー（別売）のご使用をおすすめします。
- ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。

●ディスク

・シールやラベルをはらない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）

・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。

・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。

・以下のディスクを使わない。

- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
- そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
- ハート型など、特殊な形のディスク

●カード

・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

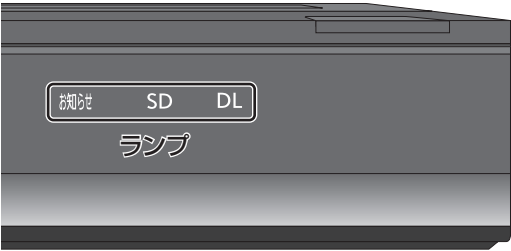
保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気·電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後はケースに収めてください。

こんな表示が出たら

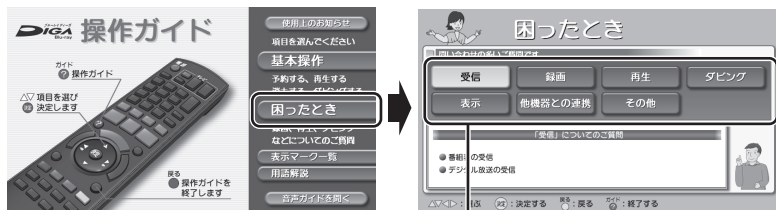
本体のランプの状態に応じて、下記の項目を確かめてください。

●下記の操作をしてもランプが消えない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜110)へ修理を依頼してください。

本体のランプの状態	調べるところ・原因・対策
お知らせ：6回点滅　SD：消灯　DL：消灯	●本体とリモコンのリモコンモードが異なっているため、本機を操作することができません。 以下の操作で本体とリモコンの設定を一度お買い上げ時の状態に戻してください。 ① 電源「切」時に、本体の **[▲ 開/閉]** を押す ●ディスクトレイが開きます。 ② 本体の **[▲開/閉]** を 10 秒以上押す ●ディスクトレイが閉まります。 ③ リモコン(フルリモコン)の場合： リモコンの **[決定]** と **[1]** を 3 秒以上押す シンプルリモコンの場合： リモコンの **[決定]** と **[◀◀ 早戻し]** を 3 秒以上押す ・リモコンモードが「1」になります。必要に応じて設定を変更してください。(**➜ 準備編 22**) ●リモコンモードを「4」〜「6」に設定している場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。(リモコン下部に "IR6" の表示があるリモコンで操作できます)
お知らせ：消灯　SD：消灯　DL：点灯	●ダウンロード実行中またはソフトウェアの更新中です。"DL" ランプが消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
お知らせ：点灯　SD：点灯　DL：消灯	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。ランプが消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。
お知らせ：点灯　SD：点灯　DL：点灯	●本機が正常に動作しません。本体の **[電源⏻/I]** を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
お知らせ：点灯　SD：点滅　DL：消灯	●本体動作に異常が確認されたため、正常に戻すための復旧動作中です。ランプが消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
お知らせ：点灯　SD：消灯　DL：点滅	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。ランプが消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな !?」の内容は、本体の「操作ガイド」や当社ホームページ(➜3)もあわせてご覧ください。

ガイド
? を押す

この項目を確認してください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 電源切 / 入時の音
- 気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- 早送り･早戻し時の映像の乱れ
- 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
  - ･電源切 / 入時　･番組表データを受信中
  - ･オンエアーダウンロード中
  - ･録画中　･録画モード変換時
  - ･「ビエラリンク録画待機」(➜83)の「入」時
  - ･予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）の、本機全体の自動再起動時
    本機の品質維持のため、自動的に内部点検を行っています。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

各種安全装置が働いていることがあります。

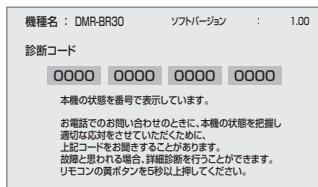
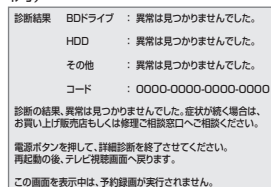
① **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る**
- 切れない場合は、約3秒間押し続けると強制的に切れます。
  （それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）

② **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる**

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

① **[スタート]**を押す
② 「その他の機能へ」を選び、**[決定]**を押す
③ 「診断コード」を選び、**[決定]**を押す
④ **[黄]**を 5 秒以上押す
⑤ 「はい」を選び、**[決定]**を押す
- 診断を開始します。

例）

- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。
- 別売のHDD(DY-HD500)をお使いの場合、診断の結果がHDDの異常のときは、持ち込み修理をしてください。（出張修理の場合、別途出張料が発生します）

故障かな !?(つづき)

電源

電源が入らない

●予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
●電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
●停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の **[電源⏻/I]** を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

●「自動電源〔切〕」**(➜80)**やビエラリンク(HDMI)の電源オフ連動**(➜69)**、「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

●ビエラリンク (HDMI)をお使いのときは、テレビから予約されると、本機の電源が自動的に入ります。

テレビ画面や映像

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

●アンテナ線の接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
●一度「アッテネーター」**(➜ 準備編 21)**を切り換えてみてください。

アンテナレベルが改善して、テレビの映りがよくなっても、アンテナレベル不足の表示が消えない

●「かんたん設置設定」**(➜ 準備編 15)**をやり直してください。

映像が映らない
映像が乱れる

●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。**(➜ 準備編 4 ～ 13)**
●HDMI 端子接続時:
・HDCP(不正コピー防止技術)に対応した機器(パソコンのディスプレイなど)に接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)
・「Deep Color 出力」**(➜83)**を「切」にしてください。
●テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
HDMI 端子で接続している場合、接続するテレビのHDMI端子を変更すると改善される場合があります。

表示していた画面が消える

●「テレビ画面の焼き付き低減機能」**(➜83)**が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

画面の上下左右に黒帯(グレー帯)が表示される
画面の横縦比がおかしい

●「画面モード切換」**(➜18)**で調整してください。
(テレビのアスペクト設定でも調整できます)
●「TV アスペクト」**(➜ 準備編 20)**の設定を接続したテレビに合わせてください。

再生時の映像に残像が多い

●「HD オプティマイザー」**(➜46)**を「切」にしてください。

ボタン操作

リモコンが働かない

●本体の“お知らせ”ランプが数回点滅していませんか。本体とリモコンのリモコンモードが異なっているため、本機を操作することができません。電池を交換すると、リモコンモードが変更される場合があります。
以下の操作で本体とリモコンの設定を一度お買い上げ時の状態に戻してください。
① 電源「切」時に、本体の [▲ 開/閉] を押す
●ディスクトレイが開きます。
② 本体の [▲開/閉] を 10 秒以上押す
●ディスクトレイが閉まります。
③ リモコン(フルリモコン)の場合：
リモコンの [決定] と [1] を 3 秒以上押す
シンプルリモコンの場合：
リモコンの [決定] と [◀◀ 早戻し] を3秒以上押す
・リモコンモードが「1」になります。
必要に応じて設定を変更してください。
(➜ 準備編 22)
●リモコンモード(➜ 準備編 22)を「4」〜「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。(リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます)
●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがありませんか。
●テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(➜ 準備編 23)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

●本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機または他の当社製機器のリモコンモードを変更してください。(➜ 準備編 22)

本体

本機が熱い

●本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースをあけてください。
本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

●本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
① [決定] と [青] と [黄] を同時に 5 秒以上押す
・本体の“お知らせ”ランプが点滅します。
② [▶] を押して、本体の“DL”ランプを点灯させる
③ [決定] を押す
・本体の“SD”ランプと“DL”ランプが点滅したあと、ランプは消灯します。
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

シンプルリモコン

登録した予約番組や録画した番組が表示されない

●リモコン(フルリモコン)から予約を登録・修正した番組は、シンプルリモコンから表示することはできません。
●別売の HDD(DY-HD500)の録画一覧では、リモコン(フルリモコン)から録画した番組は、シンプルリモコンから表示することはできません。

録画一覧の残量表示と使用した量が違う

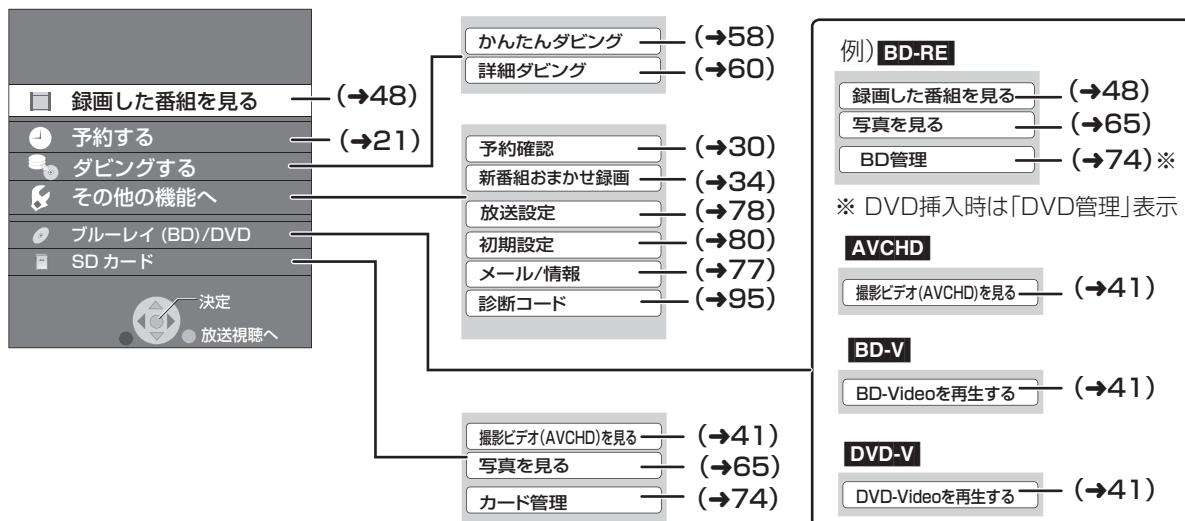
●別売の HDD(DY-HD500) の録画一覧の残量は、登録されている予約がすべて実行された場合の残量を表しています。

スタートボタンについて

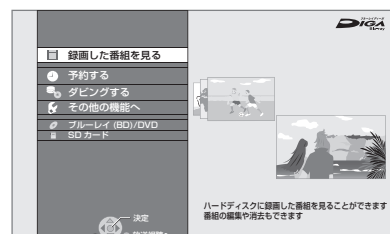
スタート画面から本機の各機能の操作を行うことができます。

● 挿入しているディスクの種類、記録状態などによって、選択できる項目は異なります。

を押す

別売のHDD(DY-HD500)を接続している場合

● HDD 「録画した番組を見る」を選ぶと、HDD内の未視聴で最新の10番組を表示します。(「1 回だけ録画可能」な番組を除く)

・番組数が 10 未満の場合は、サンプルの画像を表示します。

・同時操作中は、サンプルの画像の動きが遅くなる場合があります。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源　AC 100 V、50/60 Hz
消費電力　動作時：約 16 W

待機時(クイックスタート「切」)：
電源ランプ点灯時・約 0.3 W※1
電源ランプ消灯時・約 0.05 W※1

待機時(クイックスタート「入」)：
電源ランプ点灯時・約 6.5 W※1
電源ランプ消灯時・約 6.4 W※1

※１ ・地上デジタルアッテネーター：「オン」
・外部接続端子 (LAN)：未接続
待機時(電源切時)でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力量	
区分名※2	—
年間消費電力量※3	22.4 kWh/ 年
省エネ基準達成率※2	—

※２　ブルーレイディスクレコーダーについては、「区分 / 省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。
※３　表示値は JEITA 基準による算出式を基に算出した参考値です。

本体

項目	内容
寸法	幅 297 mm×高さ 49 mm×奥行 199 mm　(突起部含まず) 幅 297 mm×高さ 49 mm×奥行 209 mm　(突起部含む)
本体質量	約 1.6 kg [別売のHDD(DY-HD500)含まず]
許容周囲温度	5 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%～80%RH (結露なきこと)

テレビジョン方式

項目	内容
映像方式	NTSC方式、有効走査線数 480本、60フィールド デジタルハイビジョン： 地上デジタル放送方式(日本)
アンテナ受信入力	**地上デジタル入力** 90 MHz ～ 770 MHz　75 Ω (VHF：1～12 CH、UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH)

入出力端子（映像・音声を除く）

項目	内容
SDメモリーカードスロット	1系統
LAN端子	1系統(10BASE-T/100BASE-TX)
専用HDD端子	1系統(DC 5 V　500 mA)

映像

項目	内容
記録圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264
映像出力	**出力端子**　：1系統(ピンジャック) **出力レベル**　：1.0 Vp-p　75 Ω
HDMI映像・音声出力	**出力端子**　：1系統(19ピン typeA端子) HDMI [本機はビエラリンク(HDMI) Ver.5 に対応しています] (480p/1080i/720p)

音声

項目	内容
記録・再生圧縮方式	●MPEG-2 AAC (DR、HG、HX、HE、HL、HM、HB モード・デジタル放送記録時)： 最大 5.1ch 記録
アナログ出力	**出力端子**　：2ch出力 1 系統(ピンジャック) **基準出力**　：309 mVrms **出力レベル：** FS：2 Vrms(1 kHz、0 dB) 出力インピーダンス：　1 kΩ (負荷インピーダンス：　10 kΩ)
チャンネル数	**記録**：2ch(デジタル放送記録時：最大5.1ch) **再生**：2ch HDMI 出力：最大 7.1ch
デジタル出力	**HDMI 映像・音声出力端子**：1系統 (PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応) (Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD 対応、対応アンプに接続時のみ Bitstream 出力可能)

BD部

記録可能なディスク※4	●BD-RE (25 GB:片面1層/50 GB:片面2層) 1-2X SPEED(Ver.2.1 準拠) (1X SPEED Ver.1.0は非対応) (100 GB:片面3層) 2X SPEED(Ver.3.0 準拠) ●BD-R (25 GB:片面1層/50 GB:片面2層) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 1-6X SPEED(Ver.1.3 準拠) 1-2X SPEED LTH type [(Ver.1.2 準拠)(25 GB:片面1層のみ)] 1-4X SPEED LTH type [(Ver.1.3 準拠)(25 GB:片面1層のみ)] 1-6X SPEED LTH type [(Ver.1.3 準拠)(25 GB:片面1層のみ)] (100 GB:片面3層/128 GB:片面4層※5) 2-4X SPEED(Ver.2.0 準拠) ●DVD-RAM※6: 2X SPEED(Ver.2.0 準拠) 2-3X SPEED(Ver.2.1 準拠) 2-5X SPEED(Ver.2.2 準拠) ●DVD-R: 1X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-4X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-8X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-16X SPEED(Ver.2.1 準拠) ●DVD-R(DL): 2-4X SPEED(Ver.3.0 準拠) 2-8X SPEED(Ver.3.0 準拠)
リージョンコード	DVD :#2 BD :Region A

再生可能なディスク	●BD-RE(25 GB:片面1層) ●BD-RE(50 GB:片面2層) ●BD-RE(100 GB:片面3層) ●BD-R(25 GB:片面1層) ●BD-R(50 GB:片面2層) ●BD-R(100 GB:片面3層) ●BD-R(128 GB:片面4層※5) ●BD-Video (BD-Live 対応) ●DVD-RAM※6: DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠、 AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面2層): DVDビデオ規格準拠※7、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※7、 AVCREC 規格準拠※7 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠※7、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※7 ●+R、+R DL(片面2層)、+RW: DVDビデオ規格準拠※7、 AVCHD 規格準拠※7 ●DVD-Video:DVDビデオ規格準拠 ●CD-Audio(CD-DA) ●CD-R/CD-RW: CD-DA、JPEGフォーマット記録ディスク

SD部

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※8※9※10
対応フォーマット	SDカード: FAT12/FAT16 SDHCカード: FAT32 SDXCカード: exFAT

写真(JPEG)

画像ファイル形式	●JPEGベースライン形式
画素数	34×34～8192×8192 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
解凍時間※11	約2秒(1010万画素、JPEG)
再生可能メディア	BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SDカード
ファイル方式	JPEG:ベースライン方式(DCF準拠) ●ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル(半角英数字のみ) ●MOTION JPEG非対応
フォルダ数	BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SDカード: 最大500※12
ファイル数	BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SDカード: 最大10000※13
CD(JPEG)/DVD-R(JPEG)/DVD-R DL(JPEG)/DVD-RW(JPEG)/+R(JPEG)/+R DL(JPEG)/+RW(JPEG)	●ISO9660 level1と2(拡張フォーマットは除く)、Joliet対応 ●マルチセッション対応 ●パケットライト方式非対応

AVCHD動画

ファイル形式	AVCHD規格準拠
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264
対応機能	SDカードのAVCHD再生

DCF準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。

DCF:Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

※4 8 cmブルーレイディスク、8 cm DVDディスクへは記録できません。
※5 2010年11月現在、BD-R(128 GB: 片面4層)は発売されていません。
※6 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。
※7 他機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。
※8 使用可能容量は少なくなることがあります。
※9 SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを含む。
※10 miniタイプ、microタイプのSDカードを含む。(専用のアダプター装着時)
※11 解凍時間は使用環境(ファイル数・圧縮率など)によって多少長くなることがあります。
※12 最大フォルダ数:ディスク1枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数(ルートもフォルダとして数える)
※13 最大ファイル数:ディスク1枚に対し、本機で対応している最大ファイル数(JPEGのファイル合計)

録画モードと記録時間の目安

録画モード ＼ ディスク				BD-R			
				25 GB (片面１層)	50 GB (片面２層)	100 GB (片面３層)	128 GB (片面４層)※5
放送画質	DR	地上デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約３時間	約６時間	約12時間	約15時間30分
ハイビジョン画質	HG			約４時間	約８時間	約16時間	約20時間30分
ハイビジョン画質	HX			約６時間	約12時間	約24時間	約30時間50分
ハイビジョン画質	HE			約９時間	約18時間	約36時間	約46時間10分
ハイビジョン画質	HL			約12時間	約24時間	約48時間	約62時間
ハイビジョン画質	HM			約17時間20分	約35時間	約70時間	約90時間
ハイビジョン画質	HB			約21時間40分	約43時間20分	約86時間40分	約111時間

録画モード ＼ ディスク				BD-RE		
				25 GB (片面１層)	50 GB (片面2層)	100 GB (片面３層)
放送画質	DR	地上デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約３時間	約６時間	約12時間
ハイビジョン画質	HG			約４時間	約８時間	約16時間
ハイビジョン画質	HX			約６時間	約12時間	約24時間
ハイビジョン画質	HE			約９時間	約18時間	約36時間
ハイビジョン画質	HL			約12時間	約24時間	約48時間
ハイビジョン画質	HM			約17時間20分	約35時間	約70時間
ハイビジョン画質	HB			約21時間40分	約43時間20分	約86時間40分

※５　2010年11月現在、BD-R(128 GB: 片面４層)は発売されていません。

録画モード ＼ ディスク		DVD-RAM		DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面2層)
		4.7 GB(片面)	9.4 GB(両面)		
ハイビジョン画質	HG	約42分	約1時間24分	約42分	約1時間20分
ハイビジョン画質	HX	約１時間５分	約2時間10分	約１時間５分	約2時間
ハイビジョン画質	HE	約１時間40分	約3時間20分	約１時間40分	約3時間
ハイビジョン画質	HL	約2時間10分	約4時間20分	約2時間10分	約4時間10分
ハイビジョン画質	HM	約3時間15分	約6時間30分	約3時間15分	約6時間
ハイビジョン画質	HB	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間30分

録画モード ＼ ディスク				別売の HDD(DY-HD500) (500 GB)
放送画質	DR	地上デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約 63 時間
ハイビジョン画質	HG			約 80 時間
	HX			約 126 時間
	HE			約 189 時間
	HL			約 252 時間
	HM			約 360 時間
	HB			約 450 時間

お知らせ

- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が著しく異なることがあります。
- DRモードの録画時間は放送(転送レート)によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbpsで録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない(ビットレートの低い)番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

記録できる最大番組数 （使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) : 200
- HDD : 1000（長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）

予約可能番組数

128(予約可能期間 ： 1 年間)

最大チャプターマーク数

(記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む)

- BD-RE ※14 BD-R ※14 RAM(AVCREC) -R(AVCREC) :
  ディスクあたり約 999 個
  ※ 14 BDXL は約 20000 個

- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) :
1 番組あたり約 100 個

- HDD ：
1 番組あたり約 999 個

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 番組表表示や注目番組などの電子番組表サービス
- その他の放送·ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。

(1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア

(2)第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア

(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア

(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア

(5) GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア

上記(3)、(4)に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html

また、上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11

これら GPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア(GPL/LGPL ソフトウェア)は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも3年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人·団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest@am-linux.jp

またソースコードは下記の URL からも自由に入手できます。
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11

This product incorporates the following software:

(1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,

(2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,

(3) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2 (GPL v2),

(4) the software licensed under the GNU LESSER General Public License, Version 2.1 (LGPL v2.1) and/or,

(5) open sourced software other than the software licensed under the GPL v2 and/or LGPL v2.1

For the software categorized as (3) and (4), please refer to the terms and conditions of GPL v2 and LGPL v2.1, as the case may be at
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html and
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html.

In addition, the software categorized as (3) and (4) are copyrighted by several individuals. Please refer to the copyright notice of those individuals at
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11

The GPL/LGPL software is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

At least three (3) years from delivery of products, Panasonic will give to any third party who contacts us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under GPL v2/LGPL v2.1.

Contact Information
cdrequest@am-linux.jp

Source code is also freely available to you and any other member of the public via our website below.
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11

For the software categorized as (5) includes as follows.

1. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
2. This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
3. FreeType code.
4. The Independent JPEG Group's JPEG software.

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
  Gガイドは、米国Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
  米国Rovi Corporation およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。
  DTSとそのシンボルマークは、DTS, Inc.の登録商標です。DTS 2.0 + Digital Out 及び DTS のロゴは、DTS, Inc. の商標です。「製品」にはソフトウェアも含みます。© DTS, Inc. 不許複製。
- SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。
  "Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
  Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- "DVD Logo"はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画(以下、AVC/VC-1 ビデオ)を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  - ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC
  (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[スタート]ボタンを押し、"その他の機能へ"→"メール／情報"→"ID表示"→"ソフト情報表示"をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は2010年11月現在のデジタル放送規格の運用条件(著作権保護内容)に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

安全上のご注意(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

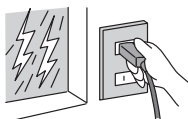
そのまま使うと火災・感電の原因になります。

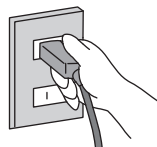
● 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

メモリーカードやminiB-CASカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解、改造をしない

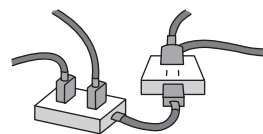
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

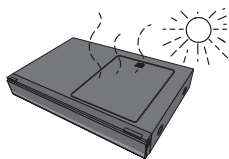
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、
火災の原因になることがあります。

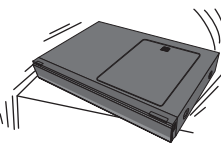
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

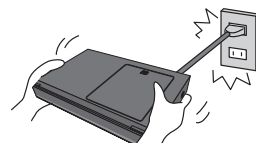
放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災･感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災･故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災･感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置･工事は販売店にご相談ください。

⚠ 注意

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

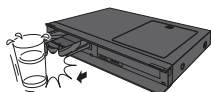
長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。
- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名				
電話	(	)	−	
お買い上げ日		年	月	日
miniB-CASカード番号				

※ miniB-CAS カード番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは…

「故障かな!?」(➜95 ～97)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● 製品名	ブルーレイディスクレコーダー
● 品　番	DMR-BR30
● 故障の状況	できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**
  保証期間:お買い上げ日から本体1年間
- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** 8年
当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- **使いかた・お手入れなどのご相談は - - -**

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口　365日 受付9時～20時
電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-982**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- **修理に関するご相談は - - - - - - - - - - - - -**

パナソニック 修理ご相談窓口
電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

使いかたのお問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。(➜95)
事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札 幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高 山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三 重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 1210

さくいん

英数字　ページ

あ　行　ページ

か 行　ページ

さ 行　ページ

た 行

な 行

は 行

ま 行　ページ

や 行　ページ

ら 行　ページ

必要なとき

操作方法や困ったときに役立つ
サポート情報を掲載しています。

●使いかた・お手入れなどのご相談は - - - - - -

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口　365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-982 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 ■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187 ■FAX フリーダイヤル 0120-878-236 **Help desk for foreign residents in Japan** **Tokyo** (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787 Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays) ※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は - - - - - - - - - - - - -

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/ インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-554 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 • 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　**長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を!**

こんな症状はありませんか	ご使用中止
• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 映像や音声が出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体に変形や破損した部分がある • その他の異常や故障がある	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ

〒 571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT3C11-1
F1110EY1021